

令和8年度 町営住宅質美団地 1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	—
A-02	建築改修工事特記仕様書 1	—
A-03	建築改修工事特記仕様書 2	—
A-04	建築改修工事特記仕様書 3	—
A-05	建築改修工事特記仕様書 4	—
A-06	建築改修工事特記仕様書 5	—
A-07	建築改修工事特記仕様書 6	—
A-08	付近見取図 配置図	NON 1/250
A-09	仮設計画図 石綿除去工事特記事項	1/100
A-10	1号棟（8号棟）平面図、立面図	1/100
A-11	6号棟（7号棟）平面図、立面図	1/100
A-12	矩計詳細図	1/30
A-13	1号棟 平面詳細図	1/50
A-14	1号棟 立面詳細図（1）	1/50
A-15	1号棟 立面詳細図（2）	1/50
A-16	1号棟 天井伏図	1/50

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	電気設備工事特記仕様書	—
E-02	電気設備工事 配置図	—
E-03	1号棟 電気設備工事平面図、立面図	1/250
E-04	6号棟 電気設備工事平面図、立面図	1/100
E-05	7号棟 電気設備工事平面図、立面図	1/100
E-06	8号棟 電気設備工事平面図、立面図	1/100
M-01	機械設備工事特記仕様書No. 1	—
M-02	機械設備工事特記仕様書No. 2	—
M-03	機械設備工事 配置図	1/250
M-04	1号棟 機械設備工事平面図、立面図	1/100
M-05	6号棟 機械設備工事平面図、立面図	1/100
M-06	7号棟 機械設備工事平面図、立面図	1/100
M-07	8号棟 機械設備工事平面図、立面図	1/100

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																										
4 内装改修工事	<p>パーテュルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td>※15mm</td> <td>○</td> <td>※13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS-Q360に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧の釘打ち ※ 隠し釘打ち ○ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭無し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 ※ 約が、産金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表6.20.1〔鉄鋼の重めつきの種別〕のF種程度の重めつきのものを施したもの</p> <p>○ 防腐・防蟻処理を省略できる種別による種別 適用部位 _____</p> <p>○ 薬剤の加工注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>○ K2 ○ K3 ○ K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ K2 ○ K3 ○ K4</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による</td> <td>※ JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____</p> <p>○ 合板等の加工注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 ※ 行う (範囲 ラワン材等 ※ 製材の日本農林規格による保存処理 K) ○ 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分	※15mm	○	※13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分	○ K2 ○ K3 ○ K4		○ K2 ○ K3 ○ K4		適用部材	処理の方法	薬剤の種類	○	※ 薬剤の製造所の仕様による	※ JIS K 1571に適合又は同等品	○			4 内装改修工事	<p>○ ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>別</td> <td>種</td> <td>記号</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>色 柄</td> <td>寸 法</td> <td>施 工 箇 所</td> </tr> <tr> <td>別</td> <td>種</td> <td>記号</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>色 柄</td> <td>寸 法</td> <td>施 工 箇 所</td> </tr> </table> <p>○ 単層ビニル床シート T T ※ 2.0 ○ 3.0</p> <p>○ 複層ビニル床シート F T ※ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0 ○ 無地 ○ 柄物 ○ 300×300 ○ 450×450</p> <p>○ 敷敷きビニル床シート F O A ○ 4.0 ○ 5.0 ○ 6.0 ○ 7.0 ○ 8.0 ○ 9.0 ○ 10.0 ○ 11.0 ○ 12.0 ○ 13.0 ○ 14.0 ○ 15.0 ○ 16.0 ○ 17.0 ○ 18.0 ○ 19.0 ○ 20.0 ○ 21.0 ○ 22.0 ○ 23.0 ○ 24.0 ○ 25.0 ○ 26.0 ○ 27.0 ○ 28.0 ○ 29.0 ○ 30.0 ○ 31.0 ○ 32.0 ○ 33.0 ○ 34.0 ○ 35.0 ○ 36.0 ○ 37.0 ○ 38.0 ○ 39.0 ○ 40.0 ○ 41.0 ○ 42.0 ○ 43.0 ○ 44.0 ○ 45.0 ○ 46.0 ○ 47.0 ○ 48.0 ○ 49.0 ○ 50.0 ○ 51.0 ○ 52.0 ○ 53.0 ○ 54.0 ○ 55.0 ○ 56.0 ○ 57.0 ○ 58.0 ○ 59.0 ○ 60.0 ○ 61.0 ○ 62.0 ○ 63.0 ○ 64.0 ○ 65.0 ○ 66.0 ○ 67.0 ○ 68.0 ○ 69.0 ○ 70.0 ○ 71.0 ○ 72.0 ○ 73.0 ○ 74.0 ○ 75.0 ○ 76.0 ○ 77.0 ○ 78.0 ○ 79.0 ○ 80.0 ○ 81.0 ○ 82.0 ○ 83.0 ○ 84.0 ○ 85.0 ○ 86.0 ○ 87.0 ○ 88.0 ○ 89.0 ○ 90.0 ○ 91.0 ○ 92.0 ○ 93.0 ○ 94.0 ○ 95.0 ○ 96.0 ○ 97.0 ○ 98.0 ○ 99.0 ○ 100.0</p> <p>○ 設置型敷敷きビニル床シート F O B ○</p> <p>○ 帯電防止床シート ○ 帯電防止床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>※ 体積抵抗値 1.0×10¹⁰以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 接着剤塗布用床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 塩化ビニル系 ※ 3.0mm角</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ レジンコンクリート系 ※ 1.5mm角</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 磁器又はせっ器質タイル ○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 耐動摩耗性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防滑性床シート ○ 防滑性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ ビニル端木</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○</td> <td></td> <td>※ 1.5 ○ 2.0</td> </tr> </table> <p>○ ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 単層品 ○ 複層品</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 織り織りたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>ハイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色 柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用</td> <td>○ 無地</td> <td>※ ト・ト・ト工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タフツドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>ハイル形状</th> <th>巾長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○ グリッド工法 ○ 全面接着工法</td> <td>○ 適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>ハイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 一種</td> <td>※ ルーフパイル</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※ 巾敷き ○ _____</p> <p>階段部分 ※ 横敷き ○ _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ _____</p>	種別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所	別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所	別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所	種 別	種 類	厚 さ (mm)	備 考	○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ¹⁰ 以下			種 別	種 類	形 状	備 考	○	○ 塩化ビニル系 ※ 3.0mm角			○	○ レジンコンクリート系 ※ 1.5mm角			○	○ 磁器又はせっ器質タイル ○			種 別	種 類	厚 さ (mm)	備 考	○				種 別	種 類	寸 法	厚 さ (mm)	○				種 別	種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	○	○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○		※ 1.5 ○ 2.0	色 柄	種 類	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		○ 単層品 ○ 複層品				種 別	織り方	ハイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所	○ A種			○ 適用	○ 無地	※ ト・ト・ト工法		○ B種					○ つづり縫い		○ C種							ハイル形状	巾長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所	○		○ グリッド工法 ○ 全面接着工法	○ 適用		種別	ハイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	※ 一種	※ ルーフパイル	※ 500×500	※ 6.5		※ 二種					4 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 改修種仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>畳用フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ フローリング ※ なら ○ 釘留め工法 ○ 釘留め工法</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 15 ○ 表6.11.1 ○ 縦木張り工法 ○ 縦木張り工法</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 12 ○ 表6.11.3 ○ 直張り工法 ○ 直張り工法</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 8 ○ 表6.11.5 ○ 接着工法 ○ 接着工法</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 8 ○ 接着工法 ○ 防水処理足金物付</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 15 ○</p> <p>畳用フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 1×6タイプ ○ 釘留め工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種</p> <p>○ フローリング ※ なら ○ 15 ○ 釘留め工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種</p> <p>○ ボードタイプ ○ ○ 釘留め工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種</p> <p>○ ○ 直張り工法 ○</p> <p>○ 接着工法 ○</p> <p>接着工法のフローリング裏面の不燃被覆材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ _____</p> <p>仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○ _____</p> <p>○ オイルスチーンのワックス塗り ○ 生地のままワックス塗り ○ _____</p>	種 別	種 類	厚 さ (mm)	大 小	工 法	備 考	○	○	○	○	○	○	種 別	種 類	厚 さ (mm)	工 法	種 別	備 考	○	○	○	○	○	○	4 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種別・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下書きによる 施 工 箇 所 防火性能 品 質 ・ 規 格</p> <p>素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.4) コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.5) せつこうボード面及びその他のボード面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井張り</p> <p>材質 ○ アルミニウム製 ○ 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 設ける (形状 _____)</p> <p>床目地 ○ 設ける ○ 設けない</p> <p>目地の種類 ※ 押目地 ○ _____</p> <p>目地割り ※ 2m程度 ○ _____</p> <p>最大目地間隔 ※ 3m程度 ○ _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ _____</p> <p>壁面 ※ 図示による ○ _____</p> <p>タイルの試験張り ○ 行わない ○ 行う</p> <p>タイルの見焼 ○ 行わない ○ 行う</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う</p> <p>接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・色柄の種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生 地</th> <th>釉 薬</th> <th>耐摩耗性</th> <th>耐滑性</th> <th>役 物</th> <th>色</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> </tr> <tr> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> </tr> <tr> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> </tr> <tr> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 磁器</td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>○ 密着張り ○ 改良密着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>○ マスク張り ○ モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有無接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>既調合モルタル</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ○ 目貫し工法 ○ _____</p> <p>18 セルフレベリング (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>厚さ (mm) ○ 10 ○ 15 ○ _____</p>	施工箇所・形状・色柄の種類	寸法(mm)	生 地	釉 薬	耐摩耗性	耐滑性	役 物	色	工 法	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	5 塗装改修工事	<p>1 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>2 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えて下地調整の種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>不部</td> <td>○ RA種 ※ 各種耐水性の割合はR種 ○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル及びせつこう塗り</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td>ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び A.L.Cパネル面</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td>ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び A.L.Cパネル面</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td>ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他のボード面</td> <td>○ RA種 ※ RB種 ○ RC種</td> <td></td> </tr> </table>	素 地	種 別	備 考	不部	○ RA種 ※ 各種耐水性の割合はR種 ○ RC種		鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種		亜鉛めっき鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種		モルタル及びせつこう塗り	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない	コンクリート面及び A.L.Cパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない	コンクリート面及び A.L.Cパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない	せつこうボード面及びその他のボード面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																														
	※15mm	○	※13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																														
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																														
	使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																											
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ K2 ○ K3 ○ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ K2 ○ K3 ○ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																															
○	※ 薬剤の製造所の仕様による	※ JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																															
○																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																											
別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																											
別	種	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ¹⁰ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	○ 塩化ビニル系 ※ 3.0mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○ レジンコンクリート系 ※ 1.5mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○ 磁器又はせっ器質タイル ○																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																														
○																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 別	種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																														
○																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 別	種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○		※ 1.5 ○ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																														
色 柄	種 類	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																													
	○ 単層品 ○ 複層品																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	織り方	ハイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																											
○ A種			○ 適用	○ 無地	※ ト・ト・ト工法																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ B種					○ つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ハイル形状	巾長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																													
○		○ グリッド工法 ○ 全面接着工法	○ 適用																																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	ハイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																													
※ 一種	※ ルーフパイル	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																														
※ 二種																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 別	種 類	厚 さ (mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 別	種 類	厚 さ (mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																												
○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所・形状・色柄の種類	寸法(mm)	生 地	釉 薬	耐摩耗性	耐滑性	役 物	色	工 法																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器	○ 陶器	○ 磁器																																																																																																																																																																																																																																																																									
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																															
不部	○ RA種 ※ 各種耐水性の割合はR種 ○ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																
モルタル及びせつこう塗り	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面及び A.L.Cパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面及び A.L.Cパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の修繕 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																															
せつこうボード面及びその他のボード面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																
注記事項及特記事項		町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事		事務所 株式会社 萩本建築設計事務所		SCALE NON																																																																																																																																																																																																																																																																											
		建設改修工事特記仕様書3		設計者 1級建築士 登録番号 102589号 萩本 暁		所在地 京都市北区北野下白梅町80 TEL(075)461-3301 FAX(075)461-3448																																																																																																																																																																																																																																																																											
						SHEET NO. A-04																																																																																																																																																																																																																																																																											

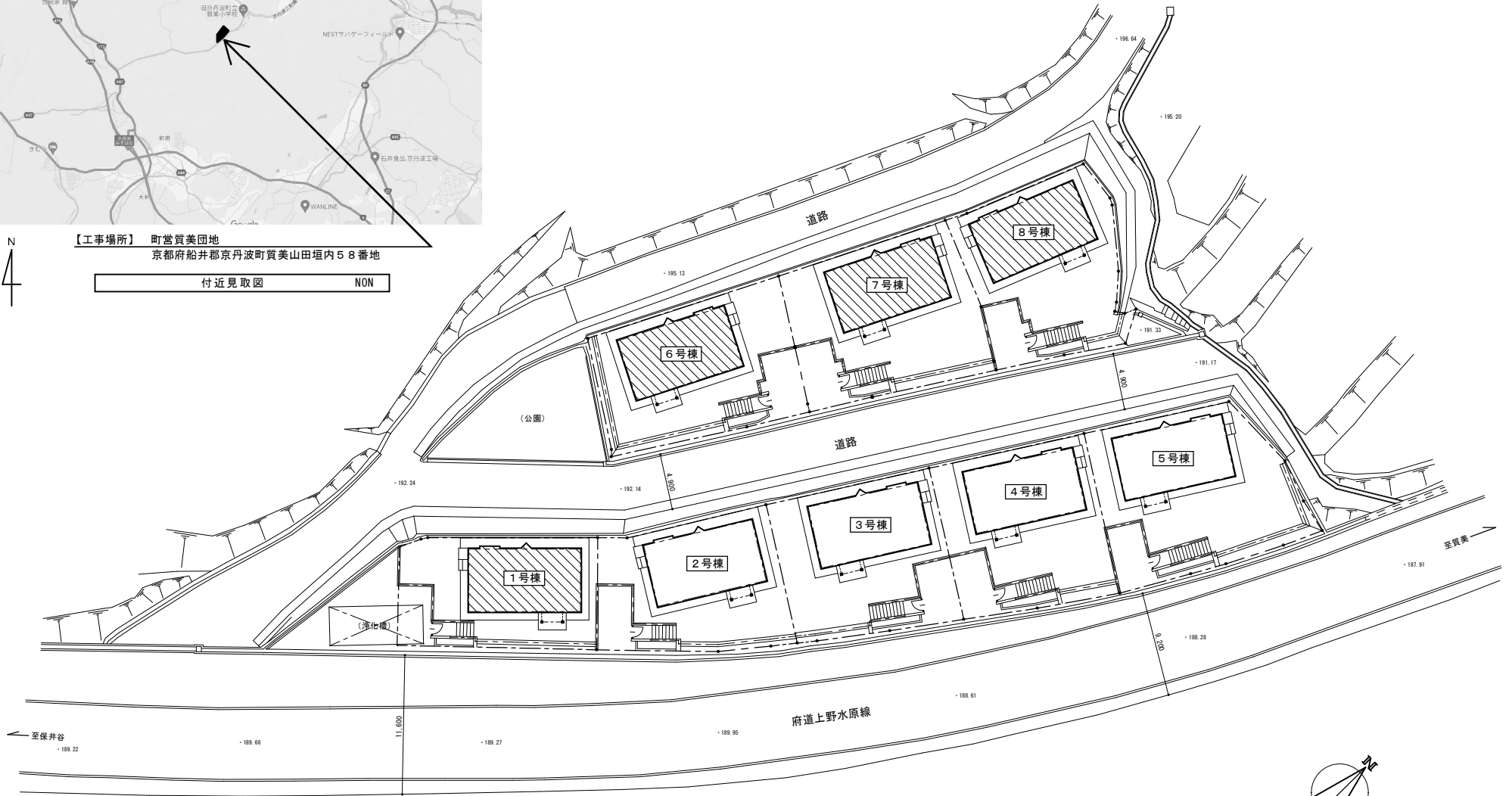
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																			
③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2)~(表7.3.7) <table border="1"> <tr><th colspan="2">下地面等</th><th colspan="2">種 別</th></tr> <tr><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※A種 ○B種</td><td>※A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>透明塗料塗りの場合</td><td>○A種 ※B種</td><td>○A種</td><td>※B種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP以外)</td><td>○A種 ○B種 ※C種</td><td>○A種</td><td>○B種 ○C種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP)</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td><td>○A種</td><td>○B種 ○C種</td></tr> <tr><td>塗膜のつき鋼面</td><td>○A種 ○B種</td><td>○A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>木材面及びせっこう材面 (DP)</td><td>○A種 ※B種</td><td>○A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>コンクリート面 (DP以外) 及びALC材面</td><td>○A種 ※B種</td><td>○A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>押出成形物及び凸凹面 (DP)</td><td>○A種 ○B種</td><td>○A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>コンクリート面 (DPのみ)</td><td>○A種 ※B種</td><td>○A種</td><td>○B種</td></tr> <tr><td>せっこう材面及び</td><td>目地: 継目処理工法</td><td>※A種 ○B種</td><td></td></tr> <tr><td>その他の材面</td><td>目地: 継目処理工法以外</td><td>○A種 ※B種</td><td></td></tr> </table>	下地面等		種 別		不透明塗料塗りの場合	※A種 ○B種	※A種	○B種	透明塗料塗りの場合	○A種 ※B種	○A種	※B種	鉄鋼面 (DP以外)	○A種 ○B種 ※C種	○A種	○B種 ○C種	鉄鋼面 (DP)	○A種 ※B種 ○C種	○A種	○B種 ○C種	塗膜のつき鋼面	○A種 ○B種	○A種	○B種	木材面及びせっこう材面 (DP)	○A種 ※B種	○A種	○B種	コンクリート面 (DP以外) 及びALC材面	○A種 ※B種	○A種	○B種	押出成形物及び凸凹面 (DP)	○A種 ○B種	○A種	○B種	コンクリート面 (DPのみ)	○A種 ※B種	○A種	○B種	せっこう材面及び	目地: 継目処理工法	※A種 ○B種		その他の材面	目地: 継目処理工法以外	○A種 ※B種		1 鉄筋の種類 (8.2.1)	(表8.2.1) <table border="1"> <tr><th>種類の記号</th><th>径 (mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>※SD295</td><td>D16以下</td><td></td></tr> <tr><td>※SD345</td><td>D19以上</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>	種類の記号	径 (mm)	備 考	※SD295	D16以下		※SD345	D19以上		○			6 1 2 耐震補強工事 (鉄筋工事)	10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート ○ 設計基準強度 ※18N/mm2 ○ スラブ ※15cm又は18cm ○ セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 適用箇所 ○標準仕様書 6.14.1(4)による箇所 ○図示による ()																																																								
下地面等		種 別																																																																																																																								
不透明塗料塗りの場合	※A種 ○B種	※A種	○B種																																																																																																																							
透明塗料塗りの場合	○A種 ※B種	○A種	※B種																																																																																																																							
鉄鋼面 (DP以外)	○A種 ○B種 ※C種	○A種	○B種 ○C種																																																																																																																							
鉄鋼面 (DP)	○A種 ※B種 ○C種	○A種	○B種 ○C種																																																																																																																							
塗膜のつき鋼面	○A種 ○B種	○A種	○B種																																																																																																																							
木材面及びせっこう材面 (DP)	○A種 ※B種	○A種	○B種																																																																																																																							
コンクリート面 (DP以外) 及びALC材面	○A種 ※B種	○A種	○B種																																																																																																																							
押出成形物及び凸凹面 (DP)	○A種 ○B種	○A種	○B種																																																																																																																							
コンクリート面 (DPのみ)	○A種 ※B種	○A種	○B種																																																																																																																							
せっこう材面及び	目地: 継目処理工法	※A種 ○B種																																																																																																																								
その他の材面	目地: 継目処理工法以外	○A種 ※B種																																																																																																																								
種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																																								
※SD295	D16以下																																																																																																																									
※SD345	D19以上																																																																																																																									
○																																																																																																																										
④ 錆止め塗料塗りに (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 <table border="1"> <tr><th>素地面</th><th>塗装の種類</th><th>塗料の種類</th><th>工程の種類</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>SOP (工程の種類は表7.4.3)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ○C種</td><td>○</td></tr> <tr><td>新規</td><td>新規</td><td>○A種 ○B種</td><td>○</td></tr> <tr><td>EP-G (工程の種類は表7.4.3)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ※B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>新規</td><td>新規</td><td>○A種 ※B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td rowspan="4">運動めっき鋼面</td><td>SOP (工程の種類は表7.4.4)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>新製</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>新製</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td rowspan="4">その他</td><td>SOP (工程の種類は表7.4.6)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>新製</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td><td>塗替え</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> <tr><td>新製</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種</td><td>○C種 ○</td></tr> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○A種 ○C種	○	新規	新規	○A種 ○B種	○	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○A種 ※B種	○C種 ○	新規	新規	○A種 ※B種	○C種 ○	運動めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○	その他	SOP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○	2 溶接金網(8.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm)	3 鉄筋の継手 及び定着(8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)	<table border="1"> <tr><th>部 位</th><th>接 合 方 法</th><th>径 (mm)</th></tr> <tr><td>○</td><td>○重ね継手 ○*1圧接継手</td><td>○D19以上</td></tr> <tr><td>○</td><td>○機械式継手 ○溶接継手</td><td>○D16以下</td></tr> <tr><td>○</td><td>○重ね継手 ○*1圧接継手</td><td>○D16以下</td></tr> <tr><td>○</td><td>○機械式継手 ○溶接継手</td><td>○D16以下</td></tr> </table>	部 位	接 合 方 法	径 (mm)	○	○重ね継手 ○*1圧接継手	○D19以上	○	○機械式継手 ○溶接継手	○D16以下	○	○重ね継手 ○*1圧接継手	○D16以下	○	○機械式継手 ○溶接継手	○D16以下	6 1 2 耐震補強工事 (コンクリート工事)	11 コンクリート特有の 過積載防止対策等	注文者は、出荷荷役等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、1台1車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。																																											
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考																																																																																																																						
鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○A種 ○C種	○																																																																																																																						
	新規	新規	○A種 ○B種	○																																																																																																																						
	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○A種 ※B種	○C種 ○																																																																																																																						
	新規	新規	○A種 ※B種	○C種 ○																																																																																																																						
運動めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
その他	SOP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
	新製	新製	○A種 ○B種	○C種 ○																																																																																																																						
部 位	接 合 方 法	径 (mm)																																																																																																																								
○	○重ね継手 ○*1圧接継手	○D19以上																																																																																																																								
○	○機械式継手 ○溶接継手	○D16以下																																																																																																																								
○	○重ね継手 ○*1圧接継手	○D16以下																																																																																																																								
○	○機械式継手 ○溶接継手	○D16以下																																																																																																																								
⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1)~(表7.13.1) <table border="1"> <tr><th>記 号</th><th>名 称</th><th>種 別</th></tr> <tr><td>SOP</td><td>合成樹脂塗膜</td><td>木部</td></tr> <tr><td>ベイト塗り</td><td>新製外部</td><td>※A種 ○B種 ○C種</td></tr> <tr><td>種類</td><td>新製内部</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td>※1種</td><td>塗替え</td><td>○A種 ※B種外部の場合工程3、工程4は行わない) ○C種</td></tr> <tr><td>○</td><td>鉄鋼面</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>運動めっき鋼面</td><td>新製</td></tr> <tr><td></td><td>その他塗替え</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>・新製</td><td></td></tr> <tr><td>CL</td><td>竹竹かき塗り</td><td>○A種 (着色塗料の種類) ※B種</td></tr> <tr><td>NAD</td><td>アクリル樹脂系</td><td>○A種 ※B種</td></tr> <tr><td>DP</td><td>耐候性塗料塗り</td><td>鉄鋼面</td></tr> <tr><td></td><td>運動めっき鋼面</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>コンクリート面及び</td><td>○A-1種 ○B-1種 ○C-1種</td></tr> <tr><td></td><td>押出成形物及び凸凹面</td><td>○A-2種 ○B-2種 ○C-2種</td></tr> <tr><td></td><td>上塗り</td><td>●1級 ふっ素樹脂系等</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○2級 シリコン系等</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○3級 ポリウレタン系等</td></tr> <tr><td>EP-G</td><td>つや合成樹脂</td><td>木部</td></tr> <tr><td>※1種</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種 ○C種</td></tr> <tr><td>○</td><td>塗替え</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td>※しみ止め材 (B種及びC種の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>鉄鋼面</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>運動めっき鋼面</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td>EP</td><td>合成樹脂</td><td>木部</td></tr> <tr><td>※1種</td><td>新製</td><td>○A種 ○B種 ○C種</td></tr> <tr><td>○</td><td>塗替え</td><td>○A種 ※B種 ○C種</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td>※しみ止め材 (B種及びC種の場合)</td></tr> <tr><td>UC</td><td>UV硬化樹脂</td><td>○A種 ※B種</td></tr> <tr><td></td><td>UV硬化</td><td>○A種 ※B種</td></tr> <tr><td></td><td>UV硬化</td><td>○A種 ※B種</td></tr> <tr><td></td><td>UV硬化</td><td>○A種 ※B種</td></tr> <tr><td>WP</td><td>木材保護塗料塗り</td><td>○A種 ※B種</td></tr> </table>	記 号	名 称	種 別	SOP	合成樹脂塗膜	木部	ベイト塗り	新製外部	※A種 ○B種 ○C種	種類	新製内部	○A種 ※B種 ○C種	※1種	塗替え	○A種 ※B種外部の場合工程3、工程4は行わない) ○C種	○	鉄鋼面	○A種 ※B種 ○C種		運動めっき鋼面	新製		その他塗替え	○A種 ※B種 ○C種		・新製		CL	竹竹かき塗り	○A種 (着色塗料の種類) ※B種	NAD	アクリル樹脂系	○A種 ※B種	DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面		運動めっき鋼面	○		コンクリート面及び	○A-1種 ○B-1種 ○C-1種		押出成形物及び凸凹面	○A-2種 ○B-2種 ○C-2種		上塗り	●1級 ふっ素樹脂系等			○2級 シリコン系等			○3級 ポリウレタン系等	EP-G	つや合成樹脂	木部	※1種	新製	○A種 ○B種 ○C種	○	塗替え	○A種 ※B種 ○C種		その他	※しみ止め材 (B種及びC種の場合)		鉄鋼面	○A種 ※B種 ○C種		運動めっき鋼面	○A種 ※B種 ○C種		その他	○A種 ※B種 ○C種	EP	合成樹脂	木部	※1種	新製	○A種 ○B種 ○C種	○	塗替え	○A種 ※B種 ○C種		その他	※しみ止め材 (B種及びC種の場合)	UC	UV硬化樹脂	○A種 ※B種		UV硬化	○A種 ※B種		UV硬化	○A種 ※B種		UV硬化	○A種 ※B種	WP	木材保護塗料塗り	○A種 ※B種	4 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔(8.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※構造図による(表8.3.6による(次の項目のかぶり厚さを除く。)) ○重量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○重量の受けるおそれのある部分等、耐上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	5 圧接完了後の 試験 (8.3.8)	試験方法 ○超音波探傷試験を全箇所で行う。	6 1 3 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事)	12 鋼材の種類	<table border="1"> <tr><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>規格等</th></tr> <tr><td>SS400</td><td></td><td>JIS S 3101</td></tr> <tr><td>SM400A</td><td></td><td>JIS S 3106</td></tr> <tr><td>SM400A</td><td></td><td>JIS S 3136</td></tr> </table>	種類の記号	使用箇所	規格等	SS400		JIS S 3101	SM400A		JIS S 3106	SM400A		JIS S 3136
記 号	名 称	種 別																																																																																																																								
SOP	合成樹脂塗膜	木部																																																																																																																								
ベイト塗り	新製外部	※A種 ○B種 ○C種																																																																																																																								
種類	新製内部	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
※1種	塗替え	○A種 ※B種外部の場合工程3、工程4は行わない) ○C種																																																																																																																								
○	鉄鋼面	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	運動めっき鋼面	新製																																																																																																																								
	その他塗替え	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	・新製																																																																																																																									
CL	竹竹かき塗り	○A種 (着色塗料の種類) ※B種																																																																																																																								
NAD	アクリル樹脂系	○A種 ※B種																																																																																																																								
DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面																																																																																																																								
	運動めっき鋼面	○																																																																																																																								
	コンクリート面及び	○A-1種 ○B-1種 ○C-1種																																																																																																																								
	押出成形物及び凸凹面	○A-2種 ○B-2種 ○C-2種																																																																																																																								
	上塗り	●1級 ふっ素樹脂系等																																																																																																																								
		○2級 シリコン系等																																																																																																																								
		○3級 ポリウレタン系等																																																																																																																								
EP-G	つや合成樹脂	木部																																																																																																																								
※1種	新製	○A種 ○B種 ○C種																																																																																																																								
○	塗替え	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	その他	※しみ止め材 (B種及びC種の場合)																																																																																																																								
	鉄鋼面	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	運動めっき鋼面	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	その他	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
EP	合成樹脂	木部																																																																																																																								
※1種	新製	○A種 ○B種 ○C種																																																																																																																								
○	塗替え	○A種 ※B種 ○C種																																																																																																																								
	その他	※しみ止め材 (B種及びC種の場合)																																																																																																																								
UC	UV硬化樹脂	○A種 ※B種																																																																																																																								
	UV硬化	○A種 ※B種																																																																																																																								
	UV硬化	○A種 ※B種																																																																																																																								
	UV硬化	○A種 ※B種																																																																																																																								
WP	木材保護塗料塗り	○A種 ※B種																																																																																																																								
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																																																								
SS400		JIS S 3101																																																																																																																								
SM400A		JIS S 3106																																																																																																																								
SM400A		JIS S 3136																																																																																																																								
		1 コンクリートの 強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリートの種類 ※I類 ○II類 <table border="1"> <tr><th colspan="2">普通コンクリート</th><th>F_c(N/mm²)</th><th>スラブ(cm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>高 位</td><td>○24 ○</td><td>○18 ○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>下 部</td><td>○24 ○</td><td>○18 ○</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート		F _c (N/mm ²)	スラブ(cm)	備 考	打 設 部 位	高 位	○24 ○	○18 ○			下 部	○24 ○	○18 ○		6 鋼骨の製作工場 (8.1.5)	○監理職員の承認する工場 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を 取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (OS OH OM OR OJ) グレード以上																																																																																																						
普通コンクリート		F _c (N/mm ²)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																																						
打 設 部 位	高 位	○24 ○	○18 ○																																																																																																																							
	下 部	○24 ○	○18 ○																																																																																																																							
		2 溶接完了後の 試験 (8.3.8)	試験方法 ○超音波探傷試験を全箇所で行う。	6 1 4 耐震補強工事 (鉄骨工事)	2 鋼骨製作工場 における施工管理 技術者 (8.1.6)	○適用する ○適用しない																																																																																																																				
		3 鉄筋の継手 及び定着(8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)	<table border="1"> <tr><th>形状</th><th>○ スパイラル筋</th><th>○</th></tr> <tr><td>種類</td><td>○ SD235 または SMM-P</td><td>○</td></tr> <tr><td>呼び径、曲げ直径、ピッチ</td><td>○ 図示による ()</td><td>○</td></tr> </table>	形状	○ スパイラル筋	○	種類	○ SD235 または SMM-P	○	呼び径、曲げ直径、ピッチ	○ 図示による ()	○	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																											
形状	○ スパイラル筋	○																																																																																																																								
種類	○ SD235 または SMM-P	○																																																																																																																								
呼び径、曲げ直径、ピッチ	○ 図示による ()	○																																																																																																																								
		4 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔(8.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※構造図による(表8.3.6による(次の項目のかぶり厚さを除く。)) ○重量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○重量の受けるおそれのある部分等、耐上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		5 圧接完了後の 試験 (8.3.8)	試験方法 ○超音波探傷試験を全箇所で行う。	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		6 鋼骨の製作工場 (8.1.5)	○監理職員の承認する工場 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を 取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (OS OH OM OR OJ) グレード以上	6 1 4 耐震補強工事 (鉄骨工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		7 軽量コンクリート (8.9.1)	※構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F _c + 構造体強度補正値(S) } N/mm ² (標準6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		8 暑中コンクリート (8.10.2)	※暑中による構造体強度補正値(S) <table border="1"> <tr><th>地 域</th><th>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</th><th>補 正 値</th></tr> <tr><td>北 部 地 域</td><td>7月11日~8月31日</td><td>※ 6 N/mm²</td></tr> <tr><td>中 部 地 域</td><td>7月21日~8月31日</td><td>○ 3 N/mm²</td></tr> <tr><td>南 部 地 域</td><td>7月1日~9月10日</td><td></td></tr> </table>	地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日~8月31日	※ 6 N/mm ²	中 部 地 域	7月21日~8月31日	○ 3 N/mm ²	南 部 地 域	7月1日~9月10日		6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																								
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																								
北 部 地 域	7月11日~8月31日	※ 6 N/mm ²																																																																																																																								
中 部 地 域	7月21日~8月31日	○ 3 N/mm ²																																																																																																																								
南 部 地 域	7月1日~9月10日																																																																																																																									
		9 寒中コンクリート	※冷平均気温が表8.2.4に示す冷平均気温未満の場合には補正値6章第1節 (寒中コンクリート) による。	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート ○ 設計基準強度 ※18N/mm2 ○ スラブ ※15cm又は18cm ○ セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 適用箇所 ○標準仕様書 6.14.1(4)による箇所 ○図示による ()	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				
		11 コンクリート特有の 過積載防止対策等	注文者は、出荷荷役等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、1台1車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。	6 1 4 耐震補強工事 (コンクリート工事)	2 1 2 あと施工アンカー の試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 ○行わない ○行う 施工確認試験 ※行う (引張試験機による引張試験 確認強度) ○行わない ○行う 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 ○1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																																				



【工事場所】 町営質美団地
 京都府船井郡京丹波町質美山田垣内58番地

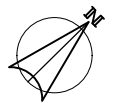
付近見取図

NON

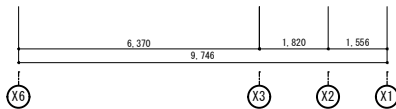
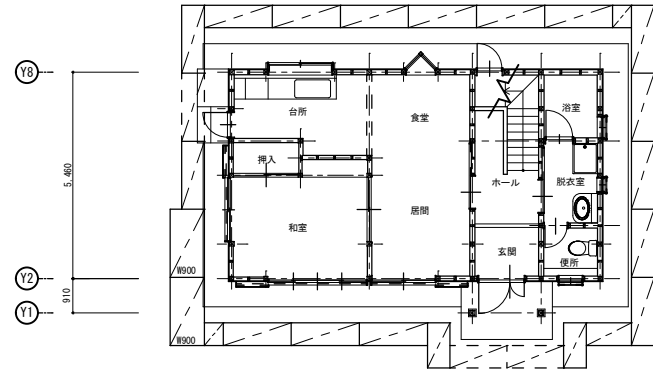


配置図 1/250

※ は工事対象建物（1号棟、6～8号棟）を示す。



注記事項及特記事項 ----- ----- -----	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所 株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE 1/250 (A2)	SHEET NO. A-08
	配置図	設計者 1級建築士 萩本 暁 登録番号 102589号	所在地 電話番号 京都市北区北野下白梅町80 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	



仮設計画案図 (1号棟) 1/100

仮設計画 凡例

- ※ 8号棟 は本図に準ず。
- ※ 6号棟、7号棟 は平面左右反転にて、本図に準ず。

	くさび型結式足場 (手すり先行型) N=600
	一部、N=900 (昇降階段) 付
	外周全面メッシュシート張り

特記事項

- 1) 本仮設計画図は参考図とし、各号棟の空地等現状に合わせ、適宜調整すること。
- 2) 工事着手前に仮設計画図を作成し、監督員の承諾を得ること。
- 3) 資材搬入時等には適宜交通誘導員を配置し、また、フェンスバリケードやカラーコーン等を設置し、安全を期すること。
- 4) 工事車両及び工事に伴う作業において建物や構造物及び道路等を損傷した場合、速やかに速やかに復旧すること。
- 5) 可燃物は、防火・防犯のため必要量のみ搬入し、残った物は毎日持ち帰ること。

石綿除去工事 特記事項

- 1) 本工事計画時の石綿含有調査より、下記「石綿含有調査建材リスト」の建材については石綿含有の有無が確定している。
石綿含有建材の撤去・処分においては、「非飛散性石綿含有材 (レベル3)」として、石綿関係各法令等を準拠の上、適切に養生・撤去作業・発生材処分を行うこと。
- 2) 上記のほか、本工事で撤去処分を計画している「軒天:ケイカル板t=6」については、石綿含有調査を行っていないため、本工事で撤去工事前にアスベスト含有調査 (定性・定量調査) を実施し、結果を監督員へ報告すること。
石綿含有がある場合は、設計変更の対象として発注者協議の上、上記同様に適正に処理することとする。

●本工事見込み アスベスト含有調査 : 定性分析 1検体×4棟 = 計4検体

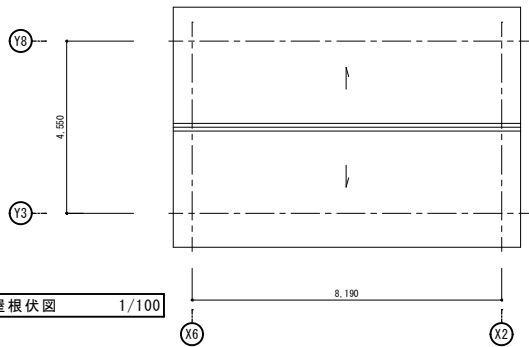
石綿含有調査 建材リスト

棟番号	部位	材料名	石綿含有の有無
1号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	有り
2号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	なし
3号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	有り
4号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	なし
5号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	有り
6号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	なし
7号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	有り
8号棟	屋根材	カラーベストコロニアル	有り
	外壁材	サイディング	有り

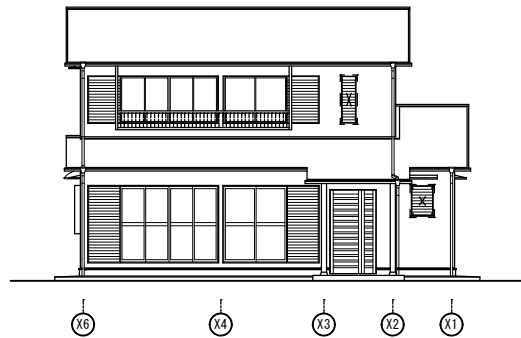
特定管理産業廃棄物の処理等 (参考)

[石綿含有建材の撤去・処分]
発注者より買受する石綿含有建材分析結果報告書をもとに、その他建材を含め実地を確認の上、「労働安全衛生法」「特定化学物質等障害予防規則」「石綿障害予防規則」「大気汚染防止法」「産業物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令・通達等に基づき、下記手順を参考に、適切に処理すること。

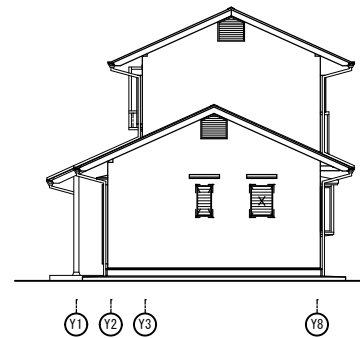
- 1) 石綿含有分析結果報告書の内容確認、現地調査
- 2) 石綿事前調査結果報告システム (厚生労働省・環境省) への登録
- 3) システム登録内容の現場提示
- 4) 撤去範囲外周部のシート養生等飛散防止対策
- 5) 湿潤化、手ばらし等による石綿含有材撤去作業
- 6) 石綿含有材密封処理
- 7) 指定処分地にて最終処分



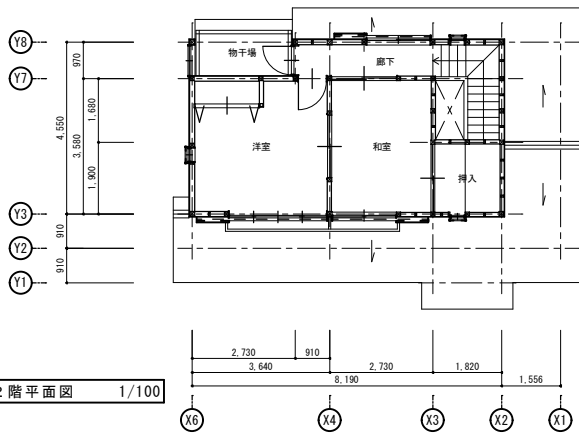
屋根伏図 1/100



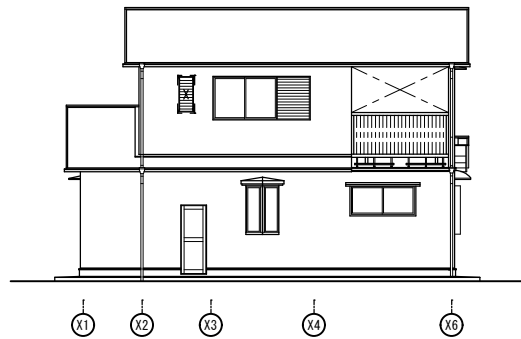
南立面図 1/100



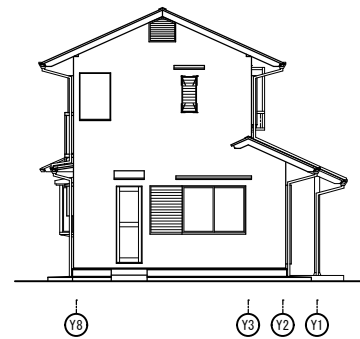
東立面図 1/100



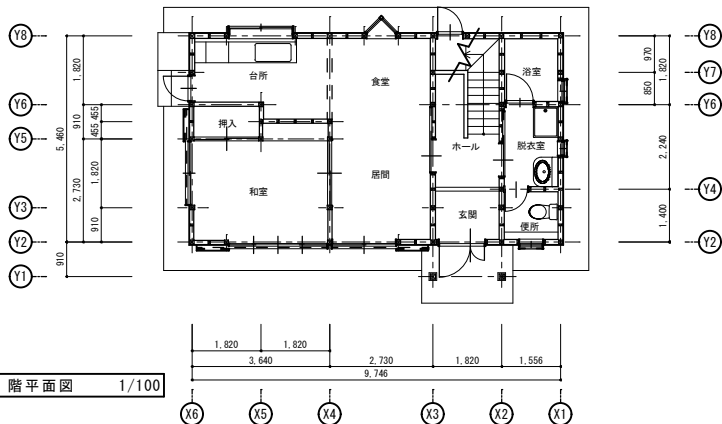
2階平面図 1/100



北立面図 1/100



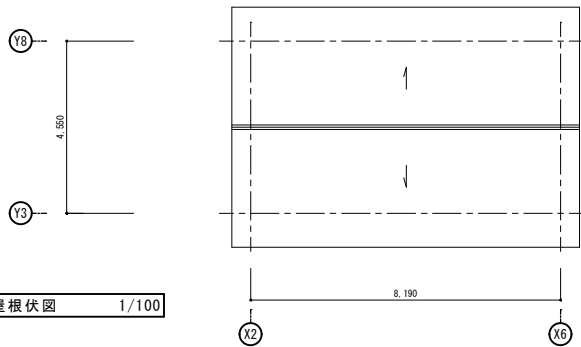
西立面図 1/100



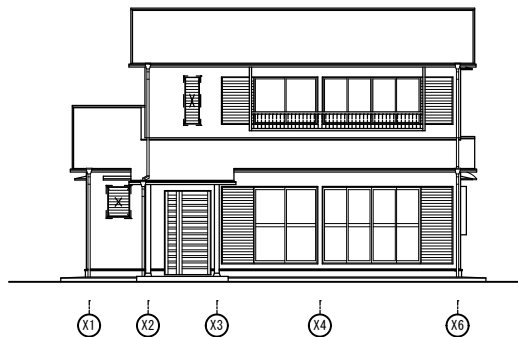
1階平面図 1/100

※ 1号棟、8号棟 は本図に準ず。

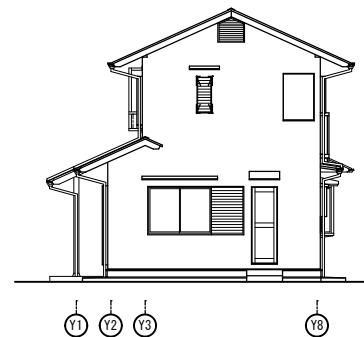
注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所		SCALE	1/100 (A2)	SHEET
	1号棟 (8号棟) 平面図、立面図	設計者	1級建築士 萩本 暁	登録番号 102589号	所在地	京都市北区北野下白梅町80	NO. A-10
			萩本 暁		電話番号	TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	



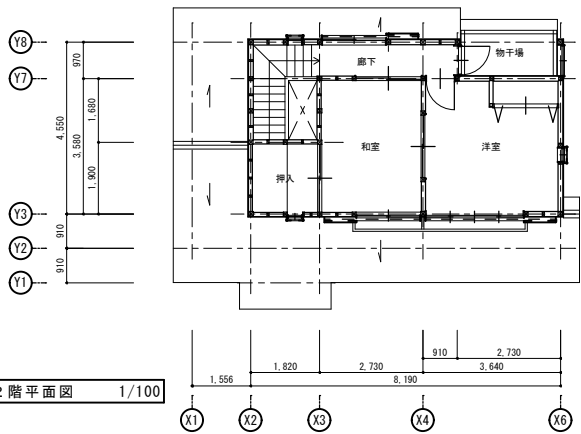
屋根伏図 1/100



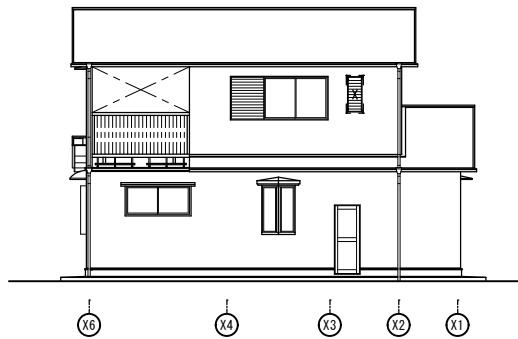
南立面図 1/100



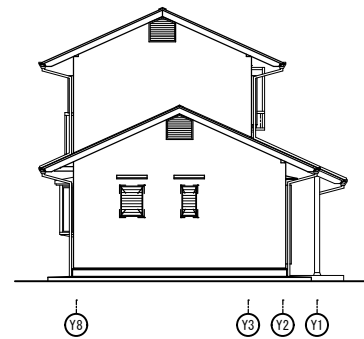
東立面図 1/100



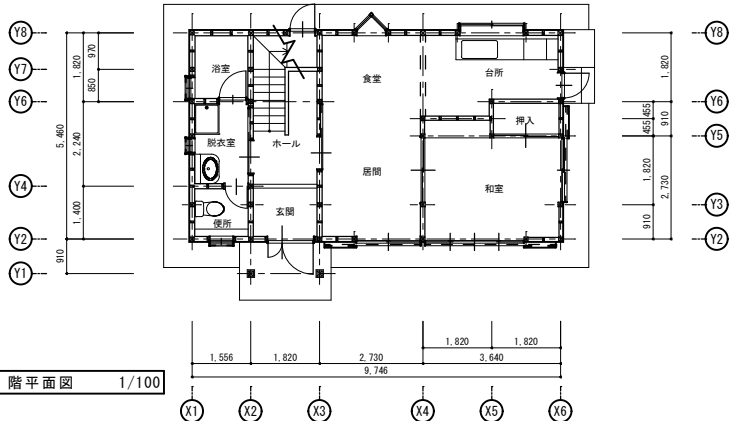
2階平面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図 1/100



1階平面図 1/100

※ 6号棟、7号棟 は本図に準ず。
(1号棟の左右反転パターン)

注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所		SCALE	1/100 (A2)	SHEET
	6号棟(7号棟) 平面図、立面図	設計者	1級建築士 萩本 暁	102589号	所在地	京都市北区北野下白梅町80	NO. A-11
			萩本 暁		電話番号	TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	

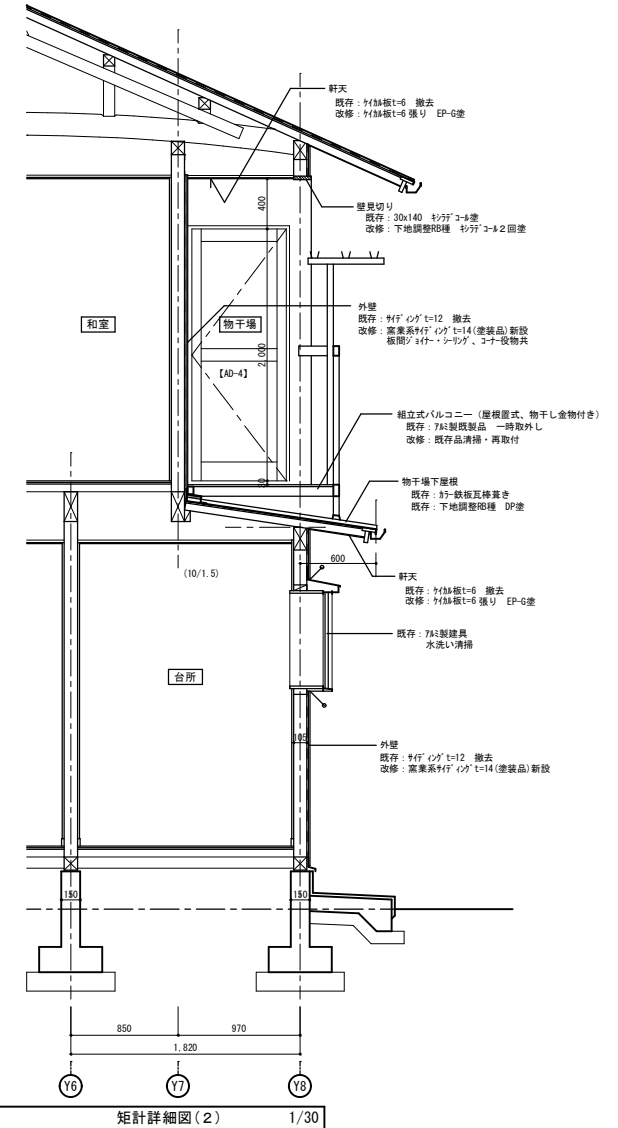
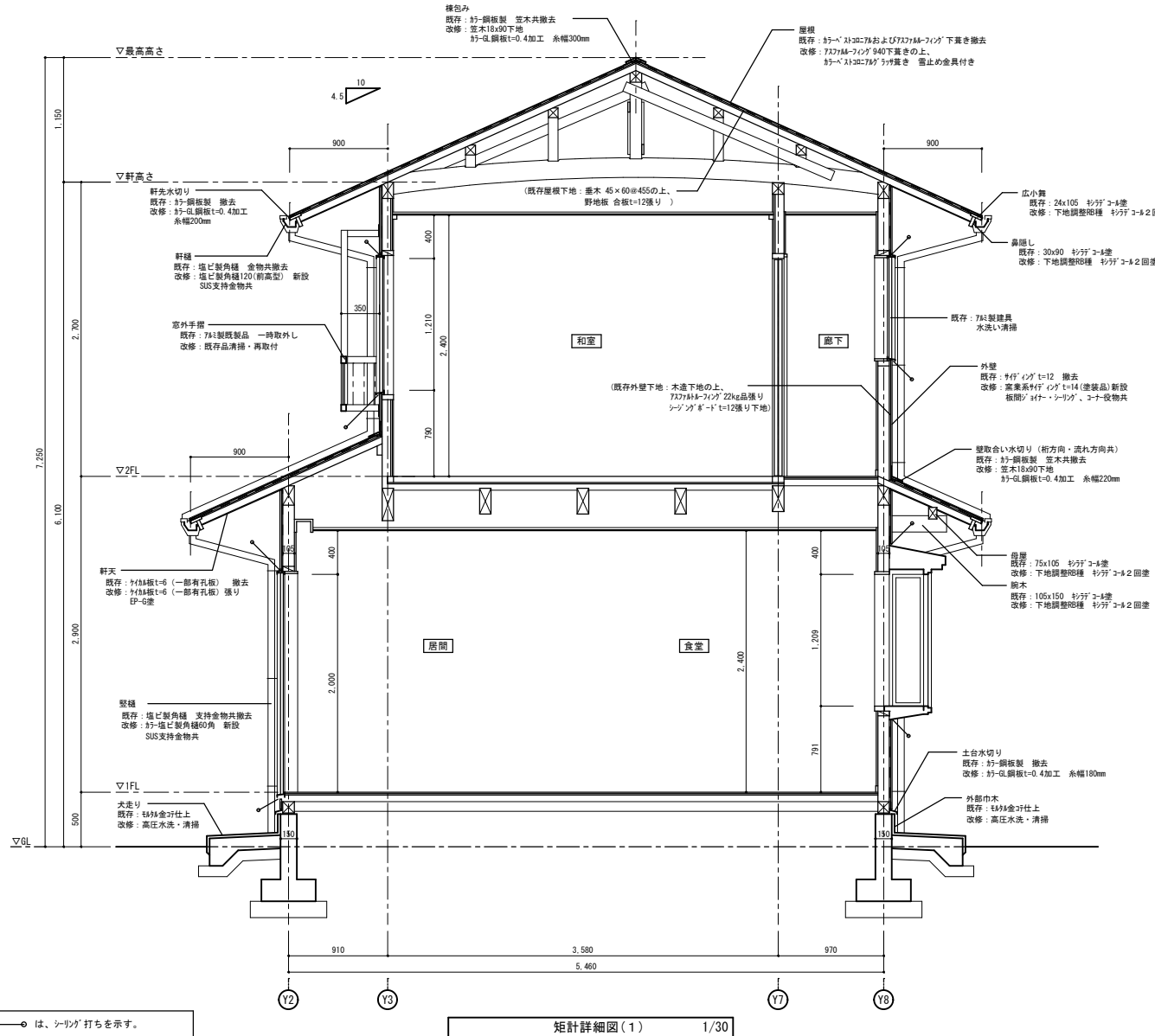
【使用材料 参考商品】

※ 使用材料は、下記同等品以上とする。

材料	メーカー名	商品名
屋根材 化粧スレート	ケイミュー(株)	カチベース30c78 グラサト=5.2
外壁材 窯業系サイディング	ケイミュー(株)	エナージュ・親水14

特記事項

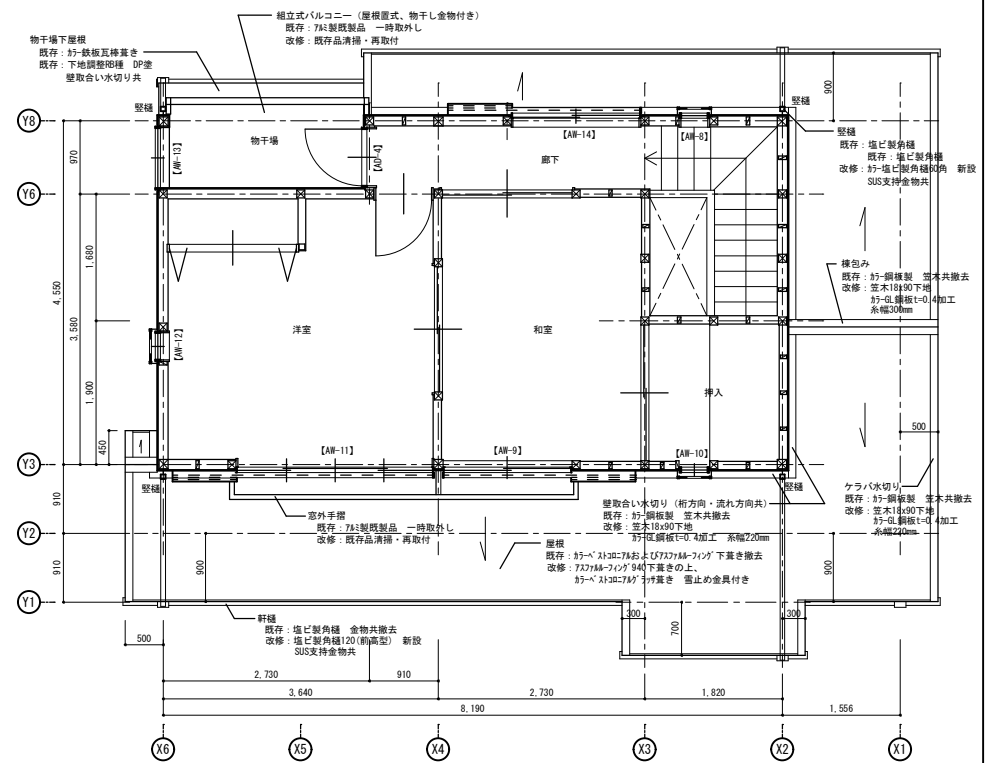
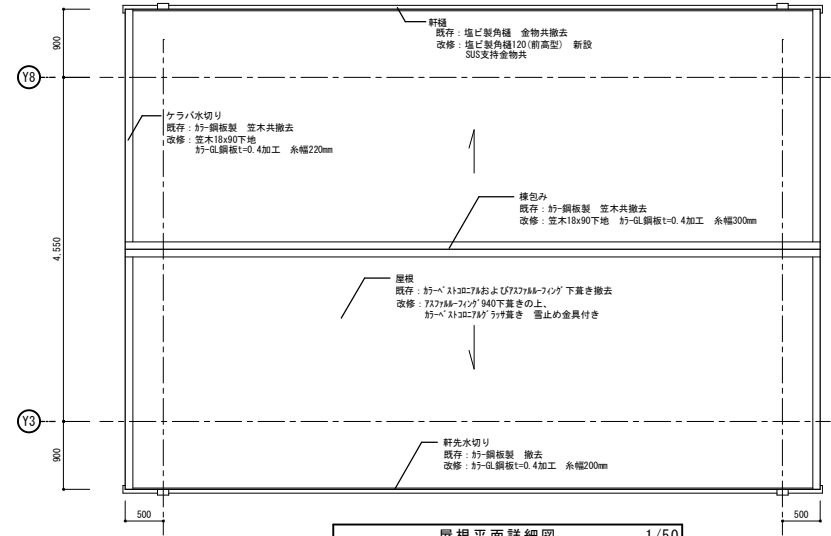
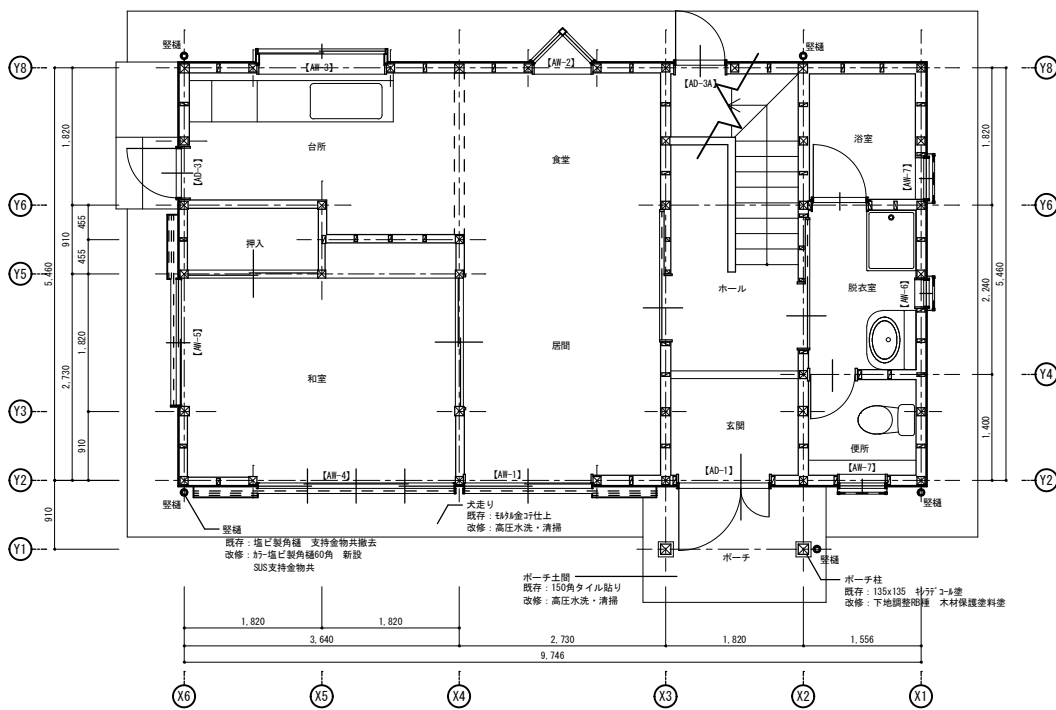
本件は、屋根および外壁の地下材は既存利用を前提としているが、仕上材撤去後の確認により地下材等に既存利用が困難な劣化・損傷箇所が見られる場合は、監督員へ内容報告・協議の上、下地等部材の取替えを行うこと。なお、設計図面にない下地等部材の取替えは、設計変更の対象とする。



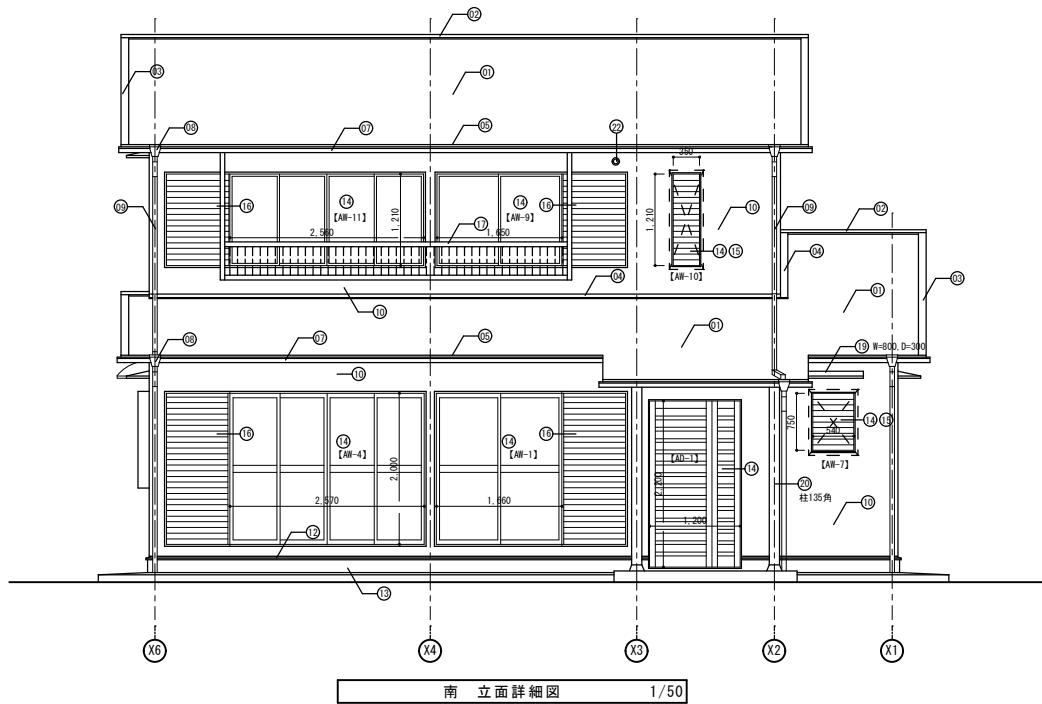
注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE	1/30 (A2)	SHEET	
	矩計詳細図	設計者	1級建築士 萩本 暁 登録番号 102589号	所在地	京都市北区北野下白梅町80 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	NO.	A-12

※ 8号棟 は本図に準ず。
 ※ 6号棟、7号棟 は平面左右反転にて、本図に準ず。

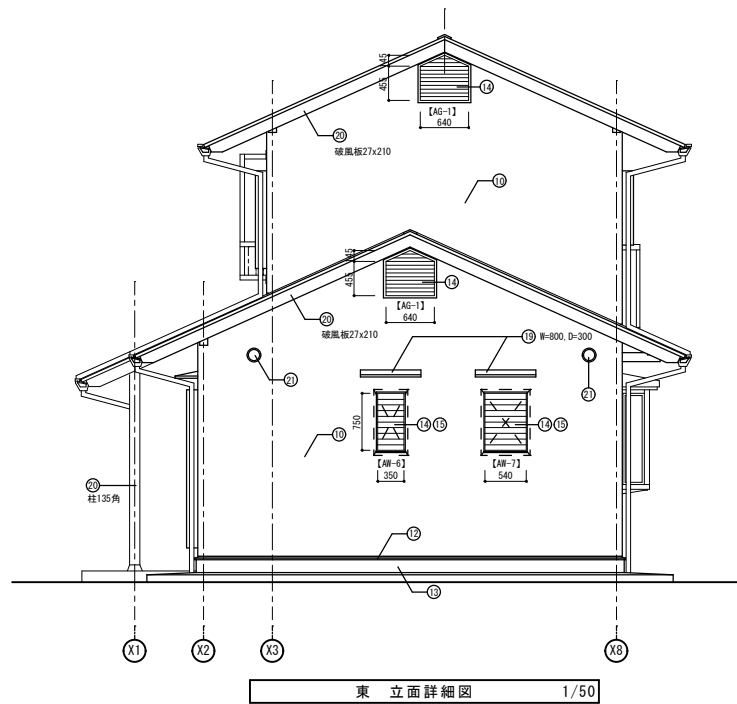
※ ○は、シーリング打ちを示す。



注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE	1/50 (A2)	SHEET	
	1号棟 平面詳細図	設計者	1級建築士 萩本 暁	所在地	京都市北区北野下白梅町80	NO.	A-13
			登録番号 102589号	電話番号	TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448		



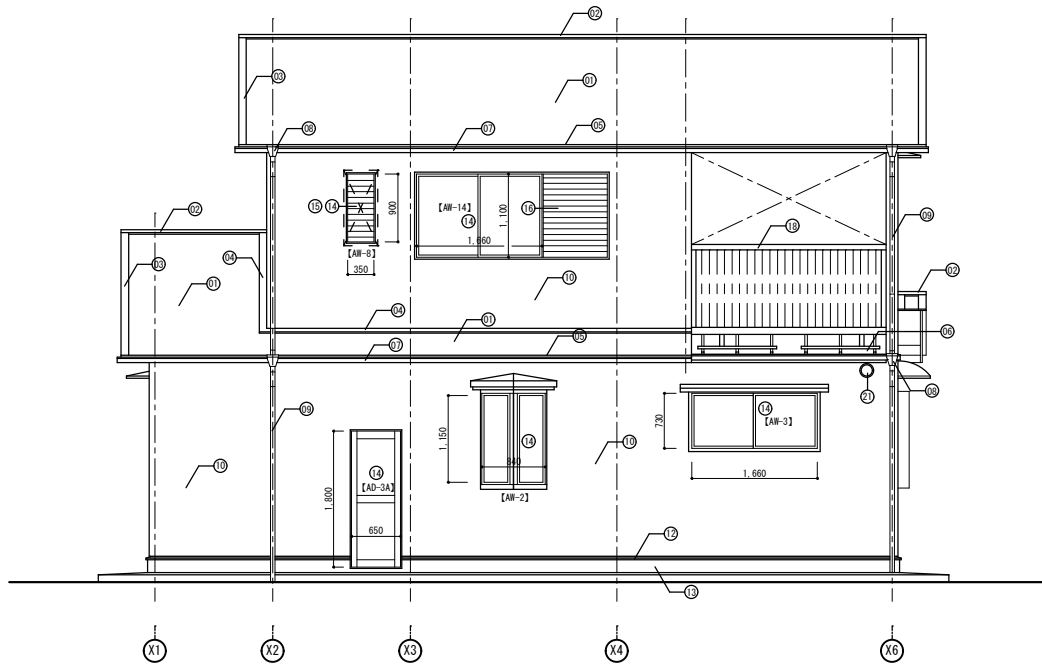
南立面詳細図 1/50



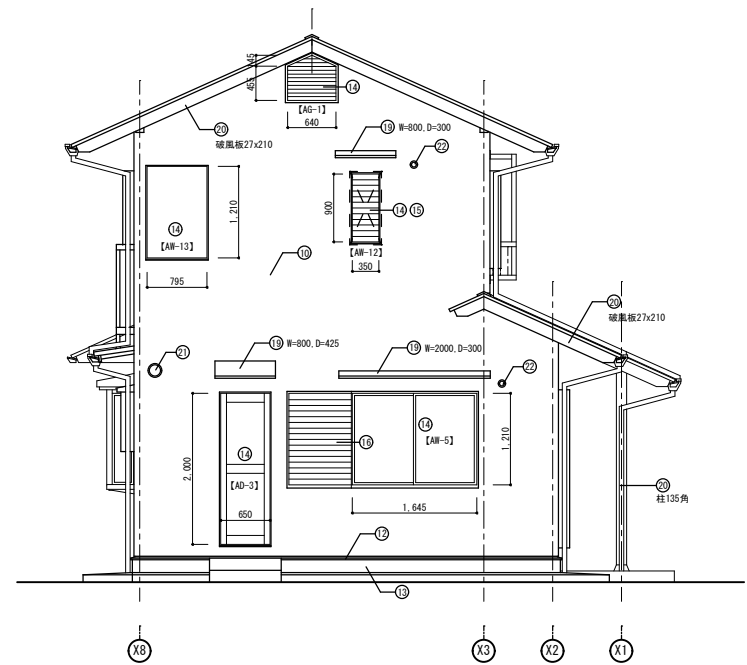
東立面詳細図 1/50

既存・改修仕上表							
番号	施工場所	既存仕上	改修仕上	番号	施工場所	既存仕上	改修仕上
①	屋根	5F-ベアブリックおよび5F2F3Fベアブリック下葺き撤去	7F7F8F-フイダ 940下葺きの上、5F-ベアブリックラテラ葺き 雪止め金具付き	①	窓外手摺	7F2F製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
②	種包み	5F-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5F-GL銅板t=0.4加工 糸幅300mm	②	組立式バルコニー (屋根直式、物干し金物付き)	7F2F製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
③	ケラハ水切り	5F-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5F-GL銅板t=0.4加工 糸幅220mm	③	小庇	7F2F製既製品	水洗い清掃、周囲シリング打替え
④	壁取合い水切り	5F-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5F-GL銅板t=0.4加工 糸幅220mm	④	木材 (柱・梁・母屋・鼻隠し等)	杉材 コーキング	下地調整DP塗 杉材 コーキング 打替え
⑤	軒先水切り	5F-銅板製 撤去	5F-GL銅板t=0.4加工	⑤	ベントキャップ	7F2F製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
⑥	物干場下屋根	5F-鉄板瓦葺き	下地調整DP塗 DP塗	⑥	クーラースリーブキャップ	樹脂製既製品 撤去	樹脂製新設
⑦	軒縁	塩ビ製角縁 金物共撤去	塩ビ製角縁120 (前高型) 新設 SUS支持金物共				
⑧	集水器	塩ビ製角型 撤去	塩ビ製角型 新設				
⑨	笠縁	塩ビ製角縁 支持金物共撤去	塩ビ製角縁60角 新設 SUS支持金物共				
⑩	外壁	4F7F イング t=12 撤去	商業系4F7F イング t=14 (塗装品) 新設 板間シ 3F4F・シリング、コーキング共				
⑪	壁天端見切り	5F-銅板製 撤去	5F-GL銅板t=0.4加工 糸幅180mm				
⑫	土台水切り	5F-銅板製 撤去	5F-GL銅板t=0.4加工 糸幅180mm				
⑬	外部巾木	杉9金3F仕上	高圧水洗・清掃				
⑭	建具	7F2F製建具	ガラス共水洗い清掃、周囲シリング打替え				
⑮	面格子	7F2F製面格子 一時取外し	既存品清掃・再取付				
⑯	雨戸	7F2F製雨戸 一時取外し	既存品清掃・再取付				

※ 8号棟 は本図に準ず。
 ※ 6号棟、7号棟 は平面左右反転にて、本図に準ず。



北立面詳細図 1/50

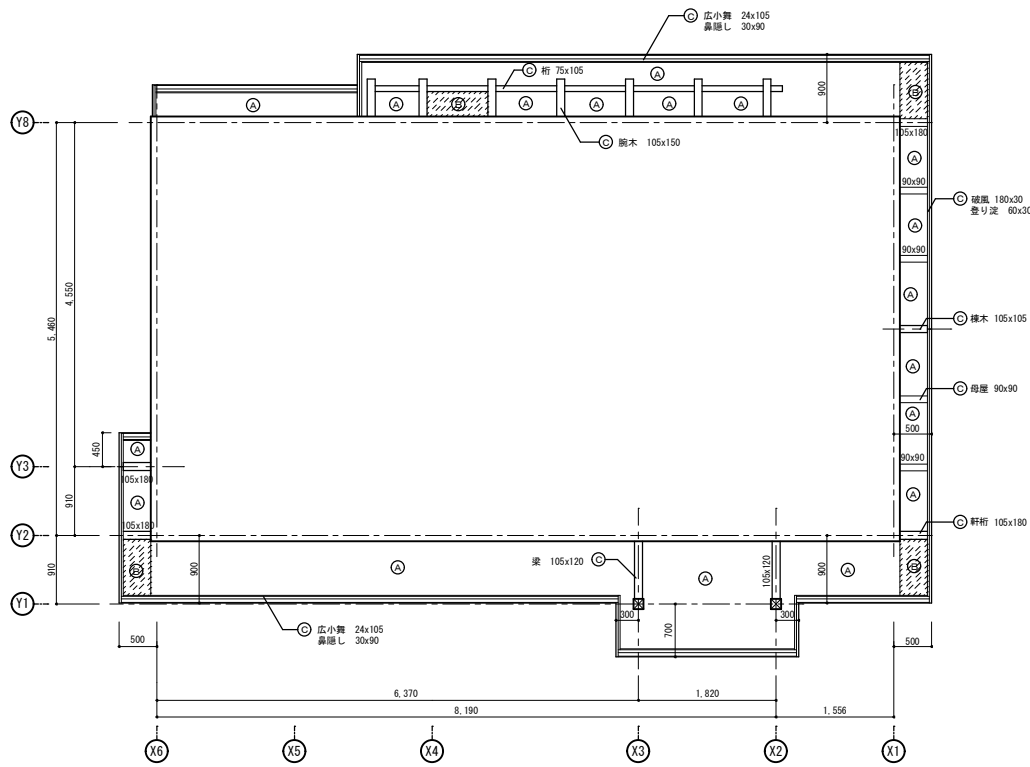


西立面詳細図 1/50

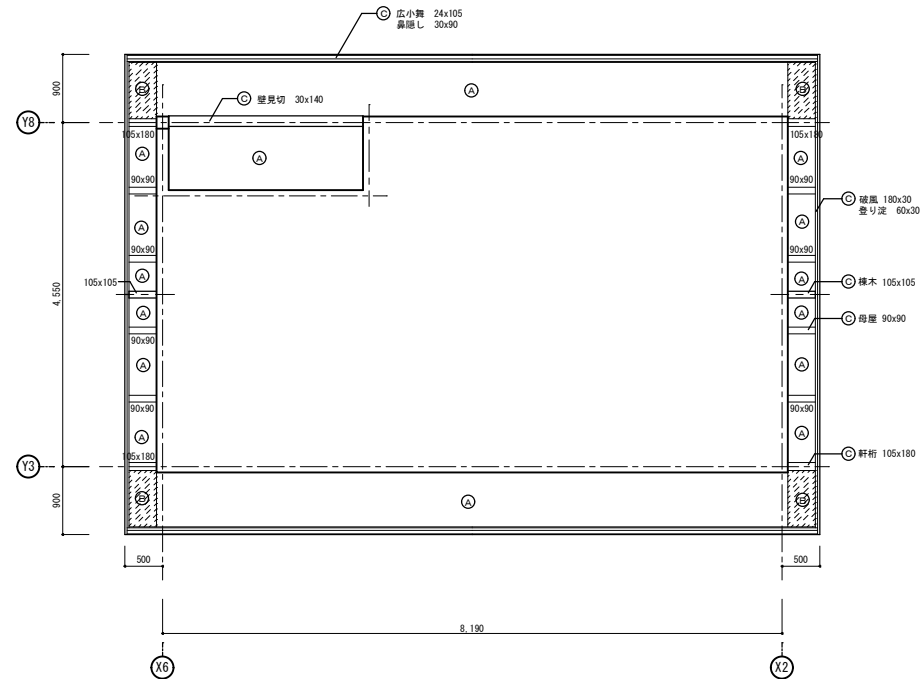
既存・改修仕上表							
番号	施工場所	既存仕上	改修仕上	番号	施工場所	既存仕上	改修仕上
①	屋根	5-ベアトリックおよび5-72786-フック 下置き撤去	72786-フック 940下置きの上、5-ベアトリックラッキ 雪止め金具付き	①	窓外手摺	7A2製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
②	種包み	5-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5-GL銅板t=0.4加工 糸幅300mm	②	組立式バルコニー (屋根直式、物干し金物付き)	7A2製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
③	ケラハ水切り	5-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5-GL銅板t=0.4加工 糸幅220mm	③	小庇	7A2製既製品	水洗い清掃、周囲シリング打替え
④	壁取合い水切り	5-銅板製 笠木共撤去	笠木18x90下地 5-GL銅板t=0.4加工 糸幅220mm	④	木材(柱・梁・母屋・鼻隠し等)	5-5-3-2塗	下地調整D種 5-5-3-2固塗
⑤	軒先水切り	5-銅板製 撤去	5-GL銅板t=0.4加工	⑤	ベントキャップ	7A2製既製品 一時取外し	既存品清掃・再取付
⑥	物干場下屋根	5-鉄板瓦葺き	下地調整D種 DP塗	⑥	クーラースリーブキャップ	樹脂製既製品 撤去	樹脂製新設
⑦	軒縁	塩ビ製角縁 金物共撤去	塩ビ製角縁120(前高型) 新設 SUS支持金物共				
⑧	集水器	塩ビ製角型 撤去	塩ビ製角型 新設				
⑨	笠縁	塩ビ製角縁 支持金物共撤去	塩ビ製角縁60角 新設 SUS支持金物共				
⑩	外壁	5-5-3-2 撤去	商業系5-5-3-2 t=14(塗装品)新設 板間シロテ・シリング、コナ役物共				
⑪	壁天端見切り	5-銅板製 撤去	5-GL銅板t=0.4加工 糸幅180mm				
⑫	土台水切り	5-銅板製 撤去	5-GL銅板t=0.4加工 糸幅180mm				
⑬	外部巾木	5-5-3-2仕上	高圧水洗・清掃				
⑭	建具	7A2製建具	ガラス共水洗い清掃、周囲シリング打替え				
⑮	面格子	7A2製面格子 一時取外し	既存品清掃・再取付				
⑯	雨戸	7A2製雨戸 一時取外し	既存品清掃・再取付				

※ 8号棟 は本図に準ず。
 ※ 6号棟、7号棟 は平面左右反転にて、本図に準ず。

※ 8号棟 は本図に準ず。
 ※ 6号棟、7号棟 は平面左右反転にて、本図に準ず。



1階天井伏図 1/50



2階天井伏図 1/50

天井仕上 凡例		
番号	既存仕上	改修仕上
Ⓐ	ケイカル板t=6張り VP塗 撤去	ケイカル板t=6 化粧底目張り EP-G塗
Ⓑ	ケイカル板(有孔)t=6張り VP塗 撤去	ケイカル板t=6(有孔) 化粧底目張り EP-G塗
Ⓒ	本部 キシラデコール塗	下地調整R種 キシラデコール2回塗

※ □ 囲み建材は、撤去前にアスベスト含有調査を実施し、結果を監督員へ報告すること。
 含有がある場合は、設計変更の対象として発注者協議の上、適正に処理すること。

電気設備工事特記仕様書 No.1

【工事概要】

1 工事場所 船井郡京丹波町興美 地内

2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別表第一耐震安全性の分類	備考
1号棟、6-8号棟	木造	2		○甲 ○乙	工事区分を記載
				○甲 ○乙	別：新築
				○甲 ○乙	全館無人改修
				○甲 ○乙	既構並行改修

3 工事事目

工事事目	建物名称	1号棟 6-8号棟	○	●
電灯設備				
動力設備				
電線設備				
受電設備				
電力貯蔵設備				
昇電設備				
構内情報通信設備				
構内交換設備				
情報表示設備				
監視・音響設備				
拡張設備				
防犯支援設備				
テレビ共同受信設備				
監視カメラ設備				
駐車管理設備				
防火・入退室管理設備				
防犯記録設備				
中央監視制御設備				
医療関係設備				
構内配電経路				
構内通信経路				
電波障害調査				
撤去工事				

【特記事項】

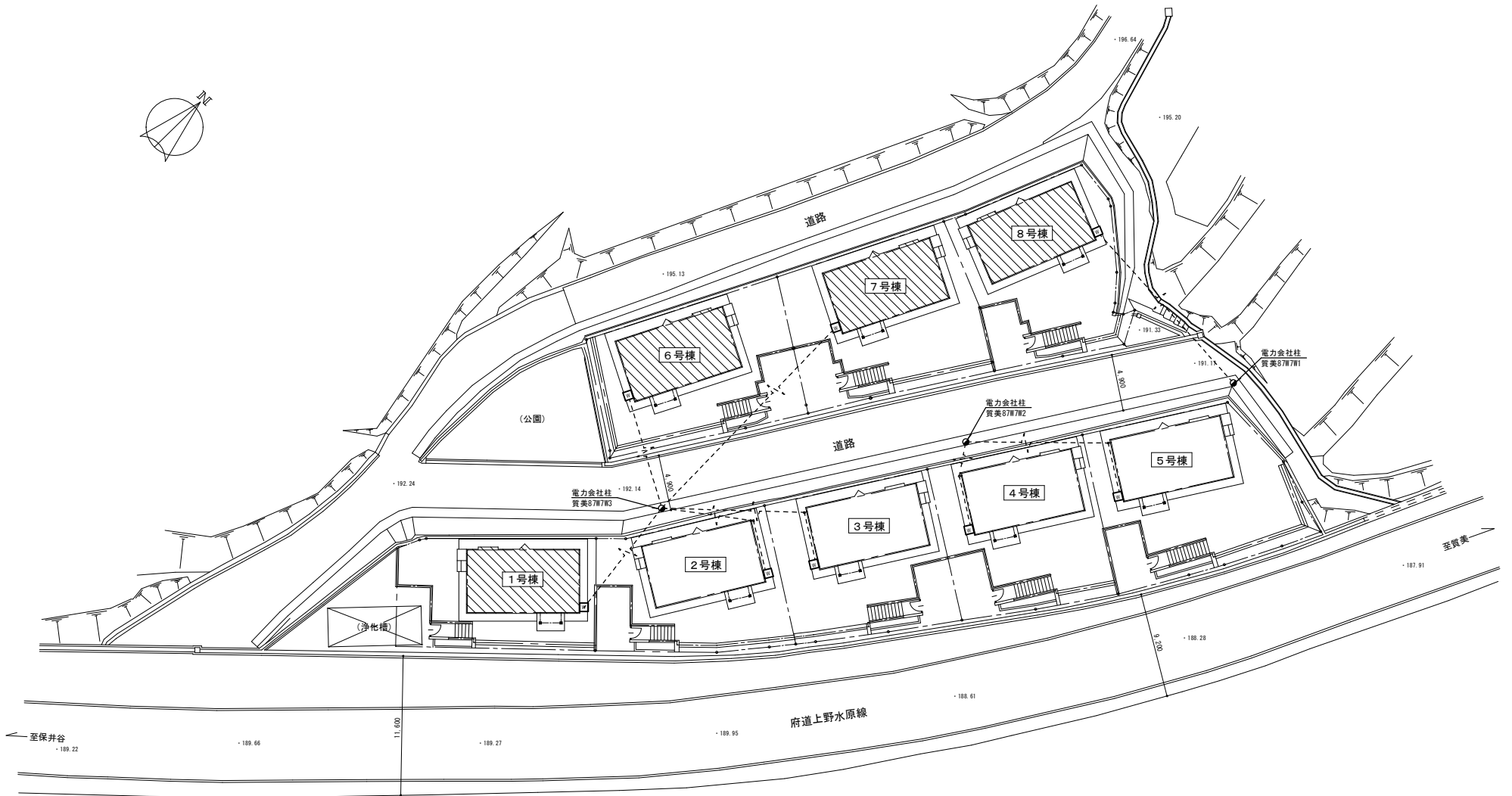
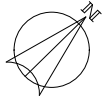
- 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「改修標準」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「改修標準」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
- 2) 工事事目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

※印を付したものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

要 項	特 記 事 項
※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。また、(ク)印は「京都府庁グリーン調達方針」(以下、「グリーン調達方針」という。)の特定調達品目を示す。 ●※機材の品質・性能証明 使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2.(2)の品質及び性能を有することの証明と同等とする資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
※現場代理人	本工事の施工に当たっては、積算契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者となる。発注者との連絡及び受注者の承認等のある者を選任する。
※電気工事士	契約電力500kW以上の場合は、第1種電気工事士による施工を行う。
※工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時点で受注者の負担とする。
※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかにし、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
※工事用仮設物	構内につくることが※できる ○できない
※定礎・作業橋台	別契約の関係者・受注者が定礎したものは、無償で使用できる。
※監督員事務所	※設置しない ○設置する (本工事 ○別途)
※監督員事務所に備え付ける図書	下記の図書は監督員事務所に入付する。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
※建設副産物の処理及び建設発生物の処理	○引き渡しを要するもの【再生資源利用を要するもの】 ○分別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ○ ○建設発生土処分 ○海外指定地に搬出処理 ※(一財)協働山砂利採取整備公社 ○右記のほか、環境説明書による。 ○構内指示場所に敷き均し
再生資源利用(促進)計画・実施書の提出	詳細は環境説明書による。
1) 建設発生土処理計画書)及び「廃棄物処理計画書)を監督職員に提出する。 2) 廃棄物等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書)及び「廃棄物処理報告書)により監督職員に報告する。	
○アスベスト成形体の処理等(以下のほか、環境説明書による)	施工調査 アスベスト成形体の撤去は当面、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形体使用部位の確認 ・アスベスト成形体の種類、厚さ等の確認 ・アスベスト成形体使用数量の確認 ・施工範囲の確認 確認範囲 ※成形体の製造年等の確認 ○X線解析法 処理方法 ※非放射型アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針)に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に廃体処分等を行うこと。

要 項	特 記 事 項																								
※工事関係書類	最終工事契約関係提出書類一式(※表により提出) ●※図面(※)※参照 (https://www.afd.kyoto.jp/d/zen/rdxc/itrk) ※履行報告 月報 ※2部 ○3部 毎月末に、翌月の5日までに提出する。 ※工事写真 1) 国土交通大臣官庁官庁事務部の「建築工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小規模情報電子化については、環境説明書による。																								
※完成図書	○名称 ○完成図 ○施工図 ○機関完成図書 ○諸番序提出書類 ○※原簿 ●完成写真 電子納品については、環境説明書による。 ※著作権等 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限り使用権は、発注者に委譲するものとする。																								
※前震施工	標準仕様書によるほか、別表1による。 1) 建築機材の選定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承認を受ける。 2) 下記の設計用水準度(KH)により、機関製作を行う。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設 置 場 所</th> <th>特定の施設</th> <th>一般の施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設 置 場 所</th> <th>特定の施設</th> <th>一般の施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1 階 及 び 地 下 階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	設 置 場 所	特定の施設	一般の施設	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1 階 及 び 地 下 階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	設 置 場 所	特定の施設	一般の施設	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	中 間 階	1.5	1.0	1 階 及 び 地 下 階	1.5	1.0
設 置 場 所	特定の施設	一般の施設																							
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)																							
中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)																							
1 階 及 び 地 下 階	1.0(1.0)	0.6(1.0)																							
設 置 場 所	特定の施設	一般の施設																							
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5																							
中 間 階	1.5	1.0																							
1 階 及 び 地 下 階	1.5	1.0																							
○風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地面粗度区分 V ₀ (○3.0 ○3.2 ○3.4) 地面粗度区分(○I ○II ○III ○IV) 建築基準法施行令第22条第2項による風圧力(耐風力)を設計(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それ以外の取付部分を含めものとする。 ○受電装置システム及び引下り導線システム ○太陽光パネル及び接続箱 ○風力発電機 ○テレビ共同受信アンテナ及びアンテナマスト																								
○電線類	1) 特記なきものは、EM-1Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 EM-Aアセスフロ JCS45402(600Vアセスフロ用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアセスフロ用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-E)及び600Vアセスフロ用耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE)を示す。 EM-MEES JCS42711に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																								
○電線管	3) 長さ1m以上の連続を行わない配管には、導入線(樹脂被覆電線等)を挿入する。 電線管 ○PPF管 ただし、露出部分に鋼製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまたは(※鋼製電線管 ○PPF管)とする。 ○ぬじなし電線管 1) 簡易及び電気の多い場所または水のある場所に使用する露出電線管は、鋼製電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を越える外壁の配管及び(PF22)又は(E25)相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 ■廊下の埋込配管 ■廊下のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。																								
○電線本数、管路等	下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管路等は監督職員の承認を受けて変更することができる。																								
○ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																								
○予備配管	分電盤の予備の配管用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで引上げる。ケーブルラックの床の耐火構造に(51)を1本以上立上げる。																								
○フラッシュプレート	その他 ○樹脂製 ○金属製 ○新金型製 ○ステンレス製																								
○床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 ※インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 ※飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 (フロアケーブルは水平高低調整型(空転防止リフing付) ※合金製 ○アルミ製とする。)																								
○開閉器	寸法 図その他機関等について図面した寸法は、約寸法とする。 接 触 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト及びナットは、下記による。 屋外・多湿等(○溶接鋼製ナット ○OSUS) その他 (○鉛品 ○)																								

要 項	特 記 事 項																																				
○あと施工アンカー	施工後補強鉄筋 ○特 ○行わない 引張力試験方法 引張力試験による引張試験とし、国土交通大臣官庁官庁事務部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成三十一年版)「8.12.7 施工引張試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																				
○機関内配線等	下記の機関内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線は次の限りでない。 ○分電盤 ○OA盤 ○異線盤 ○開閉器箱 ○制御盤 ○キュービクル式配電盤 ○直流電線盤 ○交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)																																				
○はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																				
●再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁絶縁処理の上取付ける。なお照明器具等の見えかたは、発注者の承認を得るものとする。十分に清掃する。																																				
○その他	屋外の盤架・開閉器 ○OSUS ○鋼板製 屋外のプルボックス ○OSUS ○鋼板製																																				
○工事範囲	○配管 ○配線 ○機関取付 ○電気方式 幹線 ●単相3線式 100V/200V ○直流2線式 100V 分岐 ●単相2線式 ●100V ○直流2線式 ○直流2線式																																				
○照度制御による効果の検証	一般社団法人日本照明工業会技術資料130「照度制御装置による消費電力削減効果の評価手法」による。消費電力削減効果の評価書は、監督職員に提出する。																																				
○照度制御装置(グ)	照度制御装置のセンサー設置は、監督職員と協議する。センサー設置部を耐震させる。																																				
○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定部を耐震させる。																																				
○LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、発光色を制御された器具にあつては、X又はZ、それ以外はL又はJとする。																																				
○RP又はMP形照明器具	構架図において、防雨または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																				
○非常用照明の形式	○電池内蔵形 ○電池別置形																																				
○フロアコンセント	○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用																																				
○分電盤等	1) 本工事の分電盤、OA盤、実線盤で、分岐を用いる配管用遮断器及び高電圧遮断器の寸法は、JISC8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用約形回路遮断器」、JISC8201-2-2「高電圧遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用約形高電圧遮断器」による1種サイズのものとする。 2) SPD分電盤(配用遮断器)は(○電線接続点 ○電線接続点)とする。 3) SPD分電盤は、監督職員の承認を受けて、SPD内蔵とすることができる。																																				
○照度用ボルト	○OA盤の端子箱部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける ○開閉器を設ける(○配線用遮断器○カットアウトスイッチ) ○開閉器を設けない																																				
○一般照明の照度測定	実施 ○する ○しない																																				
○工事範囲	○配管 ○配線 ○機関取付																																				
○電気方式	幹線 ○単相3線式 200V ○分岐 ○単相3線式 200V ○直流2線式																																				
○制御盤	1) 制御盤に用いる受注機器は標準仕様とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を併用し取り付けた場合、制御盤に冷却装置を停止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の設置 図面に明示(○させる) ○させない)																																				
○監視方法	○電線盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																				
○インターロック	自動火災報知設備の警報機、運動制御装置及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空機停止とする。																																				
○インバータ装置の規約効率	三相可変電圧制御インバータ装置の規約効率は、次の値以上とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>電機出力(kW)</th> <th>0.4</th> <th>0.75</th> <th>1.5</th> <th>2.2</th> <th>3.7</th> <th>5.5</th> <th>7.5</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/4ノ・効率(%)</td> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>1/4ノ・効率(%)</td> <td>96.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table> 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。	電機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	1/4ノ・効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	1/4ノ・効率(%)	96.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
電機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
1/4ノ・効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
1/4ノ・効率(%)	96.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
○工事範囲	○配管 ○配線 ○機関取付																																				
○保護レベル	○I ○II ○III ○IV																																				
○変電部システム	○単針支持管 ○鋼製 ○ステンレス製																																				
○接地システム	○A型接地地 ○板状接地地 ○垂直接地地 ○放射接地地 ○B型接地地(○環状接地地 ○網状接地地) ○構造体利用接地地(構造体高電阻の大地接地率測定のための大地接地率測定用補助接地地を○設ける ○設けない)																																				
○工事範囲	○配管 ○配線 ○機関取付																																				
○電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 ○三相3線式 200V ○単相3線式 100V/200V ○三相3線式 V ○三相4線式 V																																				
○配電盤形式	○屋内キュービクル式配電盤 ○屋外キュービクル式配電盤 ○開放形配電盤 ○変圧機 ○コンタクト盤 ○系統連系保護制御盤																																				
○変圧器の規格(ク)	○高圧スイッチgear(○CX形 ○CW形 ○PW形) ○低圧スイッチgear(○CX形 ○CW形 ○FW形) 1) 変圧器(オット)新設設置取付 ○変圧器でH級絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低電圧は特別高圧のものを除く。○は、グリッド購入法による特定調達品目の判断基準を満すものとする。 2) ダイヤル連動型は、最高温度指針とする。																																				
○監視方式	○電線盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視 ○基礎 ○木工事 ○別途工事 ○設け																																				
○付属品等	■室内に予備浪浪レヒューズを収納する。 1) 変圧器設置の配線経路確保取付用組込型で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子とする。 ○低圧配電盤に内部端子スペースを設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) ○室内照明器具はLEDとする。 ○換気機を設ける場合は回転センサ付とする。(備置型ラック付)																																				
○その他																																					

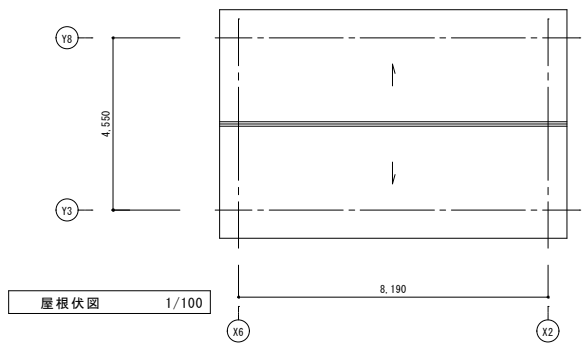


配置図 1/250

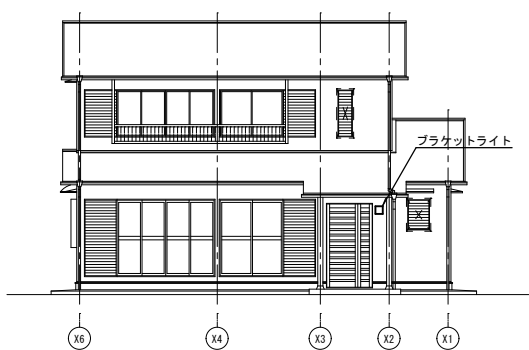
※ は工事対象建物（1号棟、6～8号棟）を示す。

・電話・インターネット引込点の盛替え等については別途とする。

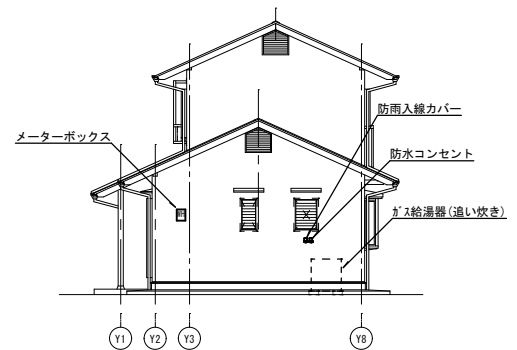
注記事項及特記事項 ----- ----- -----	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事		事務所 株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE 1/250 (A2)	SHEET NO. E-01
	電気設備工事 配置図		設計者 1級建築士 登録番号 102569号 萩本 暁	所在地 電話番号 京都市北区北野下白梅町80 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	



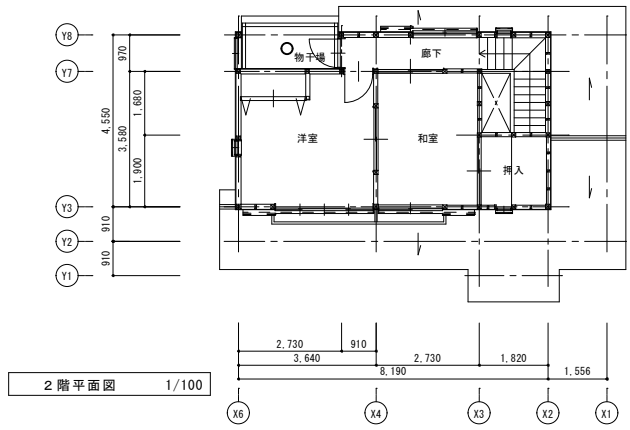
屋根伏図 1/100



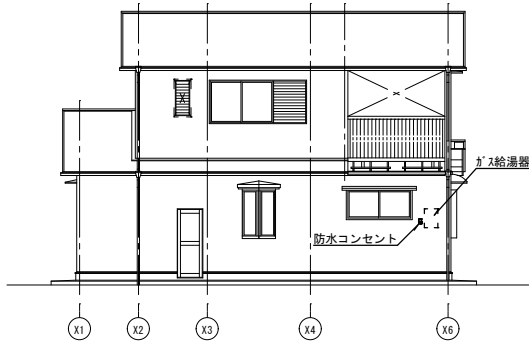
南立面図 1/100



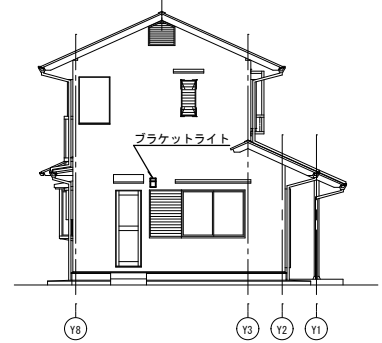
東立面図 1/100



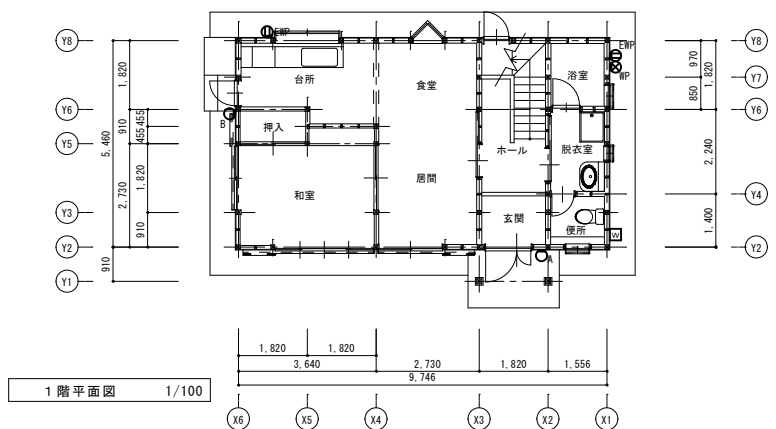
2階平面図 1/100



北立面図 1/100



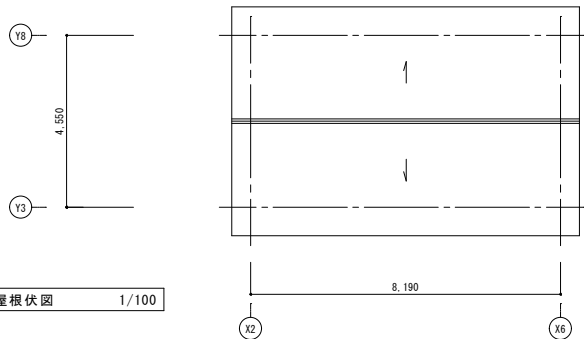
西立面図 1/100



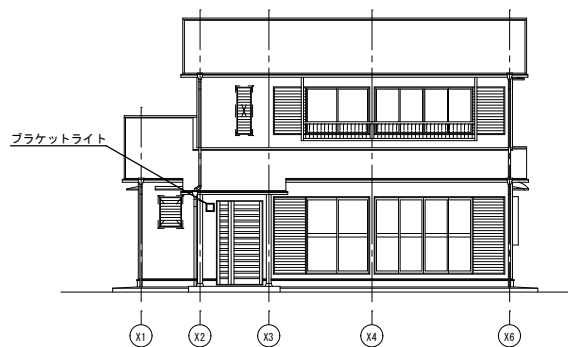
1階平面図 1/100

記号	名称	仕様	備考
☑	メーターボックス	1φ3W120A×1用	取外し・再取付
○	シーリングライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
○A	ブラケットライト	FCL15W×1 防雨型	取外し・再取付
○B	ブラケットライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
Ⓜ _{2P}	防水コンセント	2P15A×2 接地極・接地端子付	取外し・再取付
Ⓜ _{1P}	防雨入線カバー		取外し・再取付
特記事項			
1. 既設照明器具・コンセントの取り外し後、配線の端末処理を行う事。			
2. 取り外した器具は清掃し再取付を行うこと。			
(※1) メーターボックス(メーター共)の工事中仮設使用について。			
・配線は接続したままで壁面から取外し、外壁改修工事中は足場等に仮固定し、外壁改修工事完了後、再取付(復旧)を行うこと。			

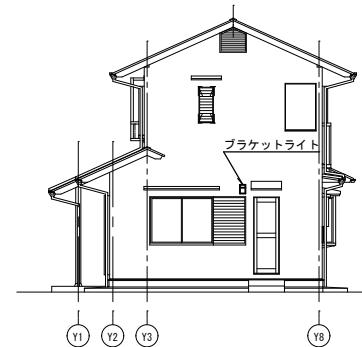
(※1)



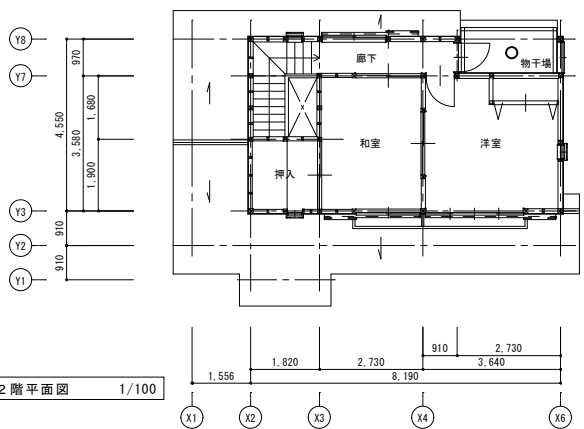
屋根伏図 1/100



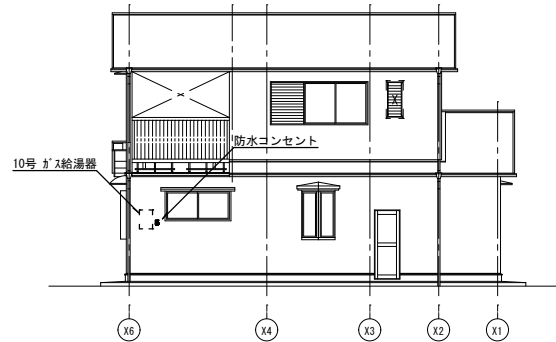
南立面図 1/100



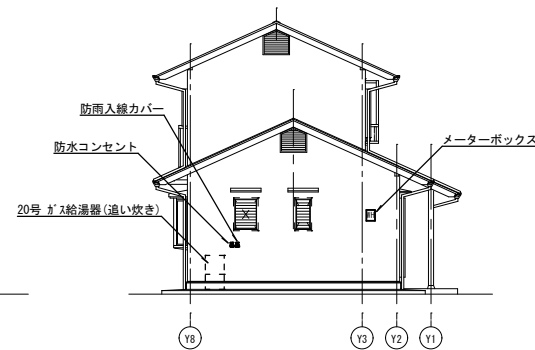
東立面図 1/100



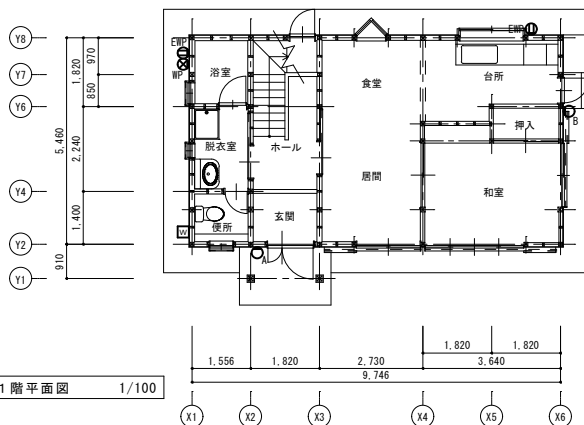
2階平面図 1/100



北立面図 1/100

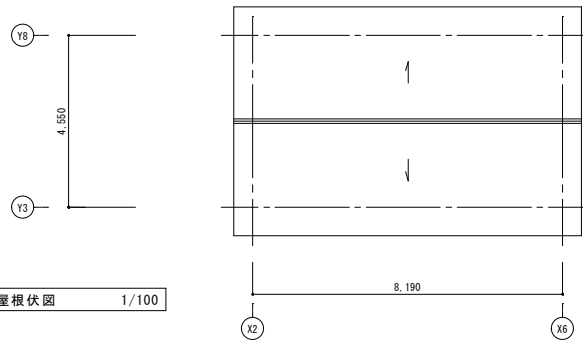


西立面図 1/100

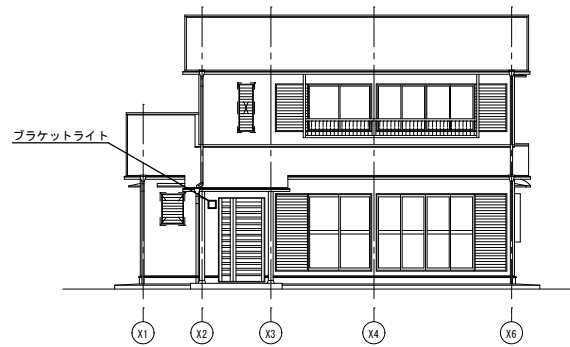


1階平面図 1/100

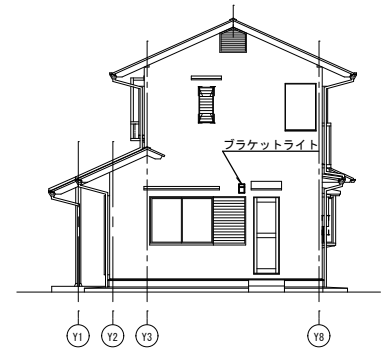
記号	名称	仕様	備考
□	メーターボックス	1φ3W120A×1用	取外し・再取付 (※1)
○	シーリングライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
○A	ブラケットライト	FCL15W×1 防雨型	取外し・再取付
○B	ブラケットライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
○EWP	防水コンセント	2P15A×2 接地極・接地端子付	取外し・再取付
○WP	防雨入線カバー		取外し・再取付
特記事項			
1. 既設照明器具・コンセントの取り外し後、配線の端末処理を行う事。			
2. 取り外した器具は清掃し再取付を行うこと。			
(※1) メーターボックス(メーター共)の工事中仮設使用について。			
・配線は接続したままで壁面から取外し、外壁改修工事中は足場等に仮固定し、外壁改修工事完了後、再取付(復旧)を行うこと。			



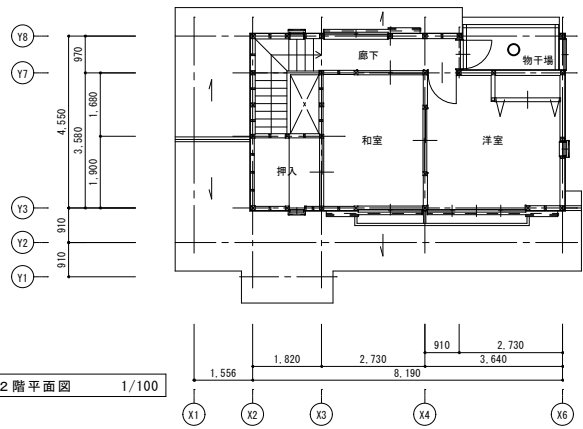
屋根伏図 1/100



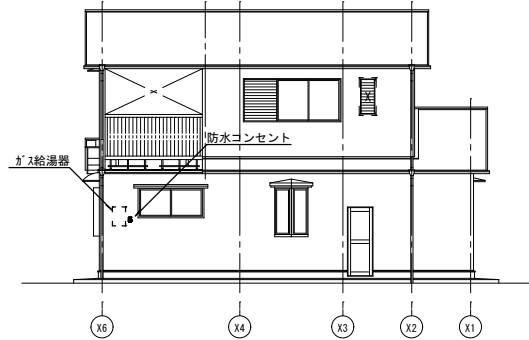
南立面図 1/100



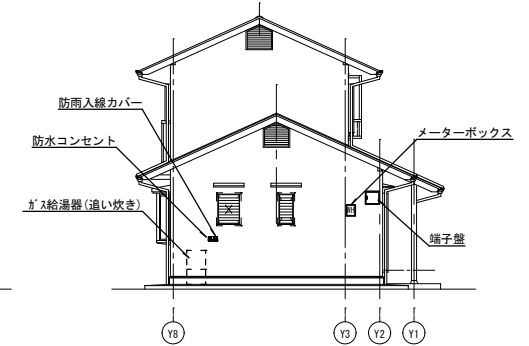
東立面図 1/100



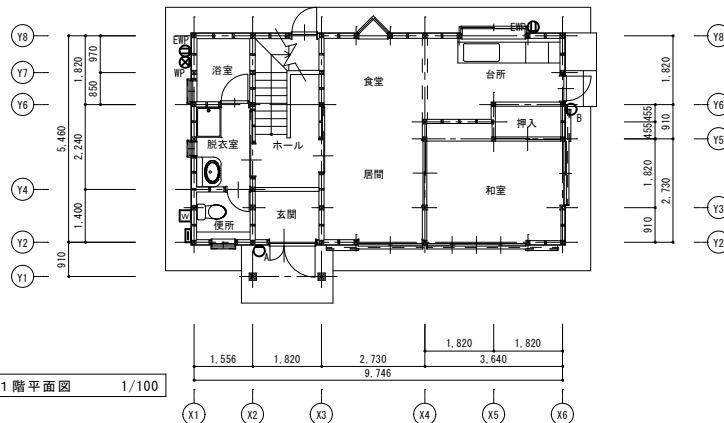
2階平面図 1/100



北立面図 1/100



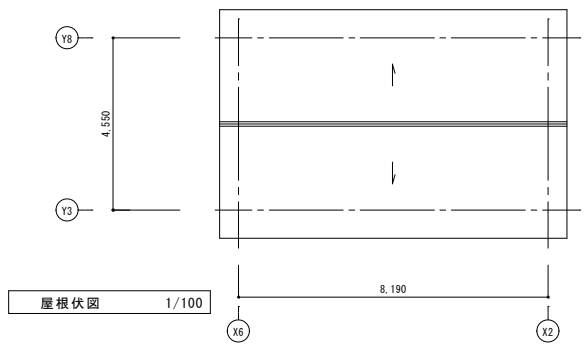
西立面図 1/100



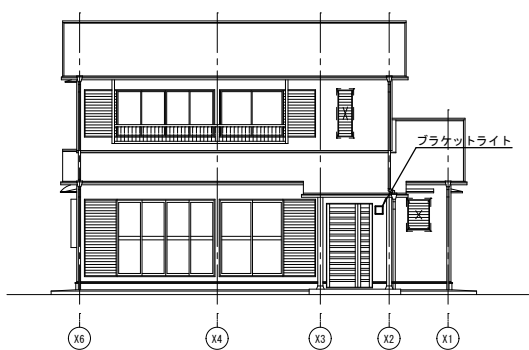
1階平面図 1/100

記号	名称	仕様	備考
□	メーターボックス	1φ3W120A×1用	取外し・再取付 (※1)
○	シーリングライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
○A	ブラケットライト	FCL15W×1 防雨型	取外し・再取付
○B	ブラケットライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
⊕	防水コンセント	2P15A×2 接地極・接地端子付	取外し・再取付
⊕P	防雨入線カバー		取外し・再取付
⊞	端子盤	350W×340H×120D	取外し・再取付 (※1)

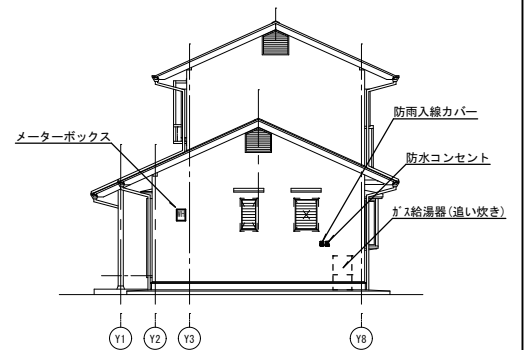
特記事項
 1. 既設照明器具・コンセントの取り外し後、配線の端末処理を行う事。
 2. 取り外した器具は清掃し再取付を行うこと。
 (※1) メーターボックス(メーター共)及び端子盤の工事中仮設使用について。
 ・配線は接続したままで壁面から取外し、外壁改修工事中は足場等に仮固定し、外壁改修工事後、再取付(復旧)を行うこと。



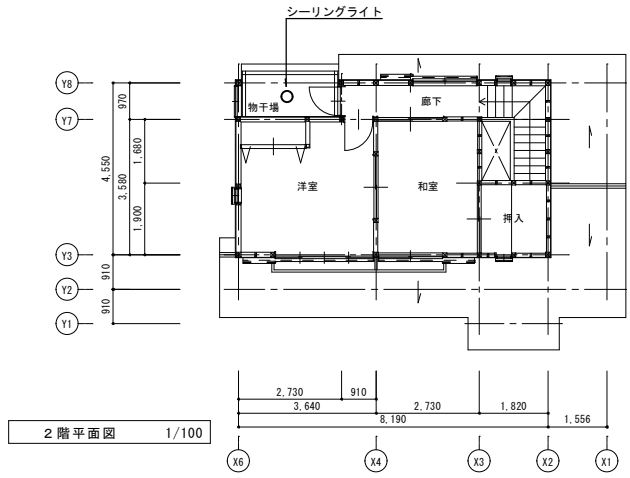
屋根伏図 1/100



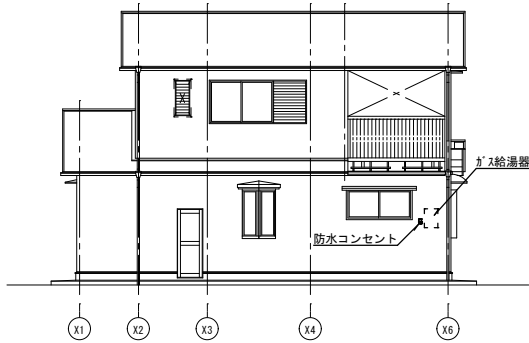
南立面図 1/100



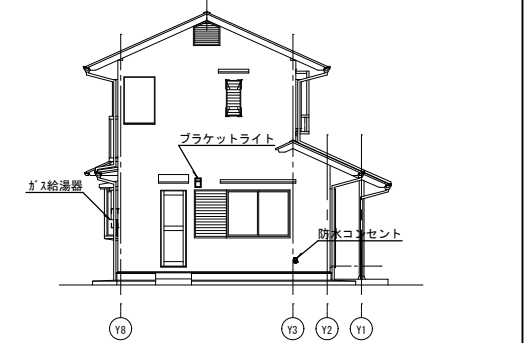
東立面図 1/100



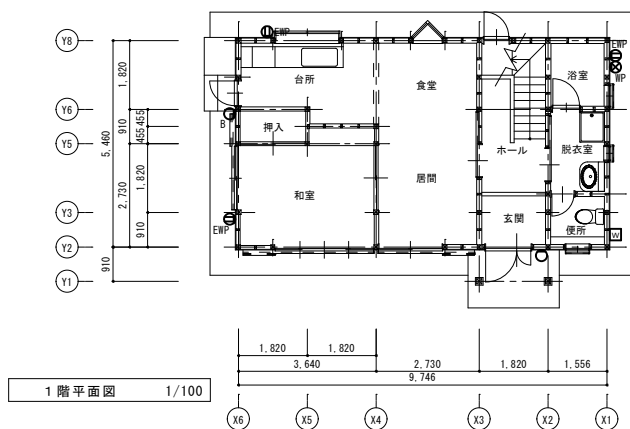
2階平面図 1/100



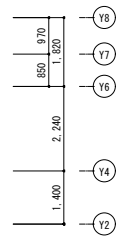
北立面図 1/100



西立面図 1/100



1階平面図 1/100



記号	名称	仕様	備考
☑	メーターボックス	1φ3W120A×1用	取外し・再取付 (※1)
○	シーリングライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
○A	ブラケットライト	FCL15W×1 防雨型	取外し・再取付
○B	ブラケットライト	1L40W×1 防雨型	取外し・再取付
Ⓞ _{WP}	防水コンセント	2P15A×2 接地極・接地端子付	取外し・再取付
Ⓞ _{RP}	防雨入線カバー		取外し・再取付
特記事項			
1. 既設照明器具・コンセントの取り外し後、配線の端末処理を行う事。			
2. 取り外した器具は清掃し再取付を行うこと。			
(※1) メーターボックス(メーター共)の工事中仮設使用について。			
・配線は接続したままで壁面から取外し、外壁改修工事中は足場等に仮固定し、外壁改修工事後、再取付(復旧)を行うこと。			

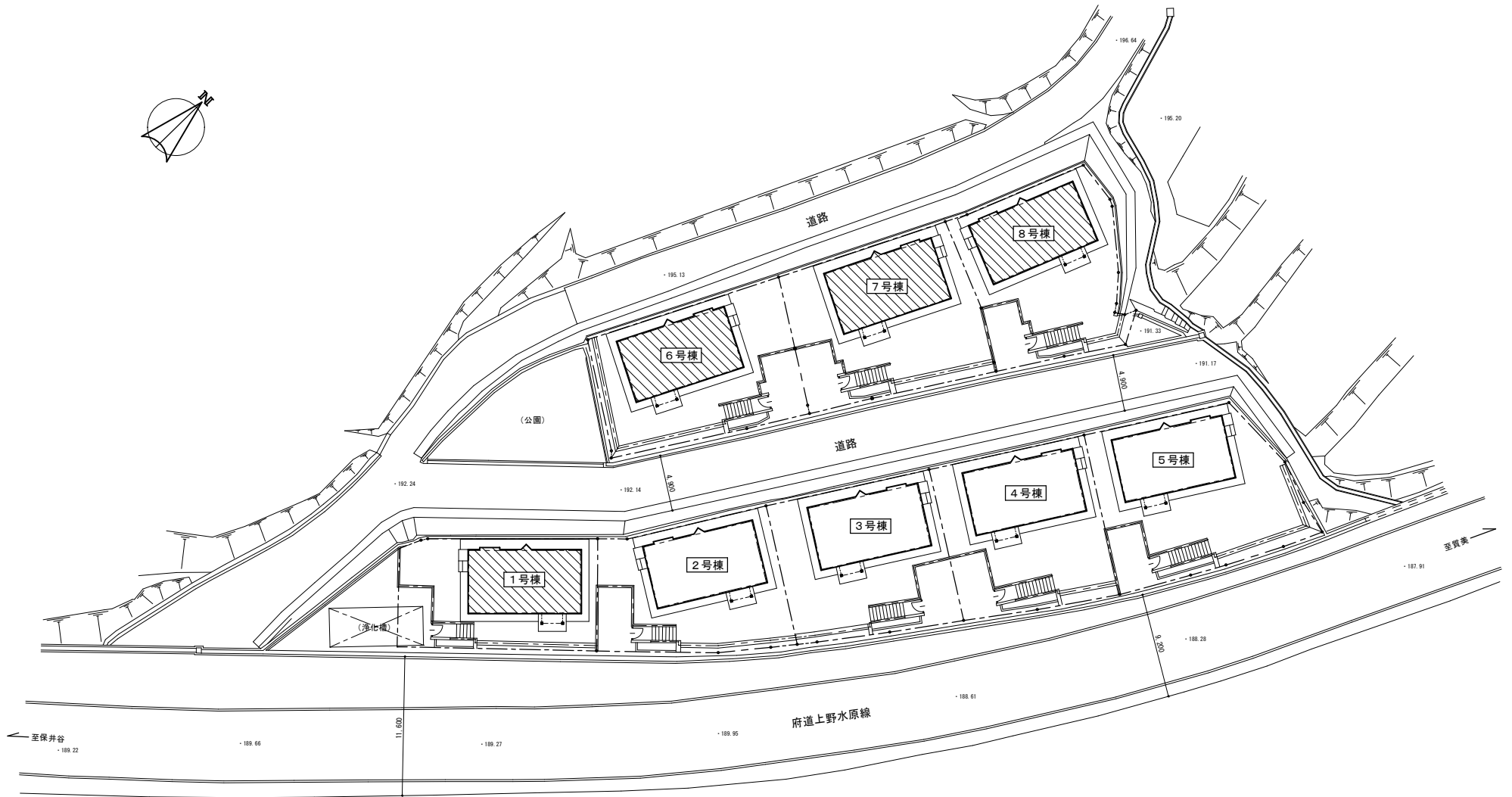
機械設備工事特記仕様書 No.2

種	項目	特記事項									
空	○鋼板製煙道 (ボイラー)	厚さ ○3.2mm ○4.5mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん測定口 ○取付座									
	○ばい煙濃度計 (ボイラー)	※送風機付き ○送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取り出し、配管配線共本工事に含む)									
和	○瞬間流量計	○固定形 ○壁 ○巻取可能形 (測定用タッピング 鋼 本体 鋼)									
	○保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 断熱材 ○必要 ○必要 露出部 ○保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ ・屋外 ○ステンレス鋼板 ○アルミ合金製 ○保温化粧ケース (樹脂製 ○アルミ合金製) ○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製 ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水栓の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。									
換	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共振フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト									
	○ダクトの分岐方法	絶気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式									
気	○扇形排気ダクトの板厚	扇形排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダクトの長さ</th> <th>板厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td> <td>0.6mm</td> </tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td> <td>0.8mm</td> </tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td> <td>1.0mm</td> </tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td> <td>1.2mm</td> </tr> </tbody> </table>	ダクトの長さ	板厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの
ダクトの長さ	板厚										
450mm以下	0.6mm										
450mmを超え1200mm以下	0.8mm										
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm										
1800mmを超えるもの	1.2mm										
備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※スチレス鋼板 (補強材) 2) 排気フード廻りに取付ける扉板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの手洗い ○不要 ○必要									
	○保温	浴室・厨間 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。									
排	○接続対象部分	○面下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m ²									
	○ダクトの種類	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト									
煙	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法									
	○ダクトの材料	※亜鉛鉄板製 ○鋼板製 (1.5mm以上)									
設	○扉埋口	1) 形状 ○スリット型 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 扉埋口の開放 ○手動 ○電動式 ○電気式 ○埋込感知器連動 3) 扉埋口の閉鎖 ○手動 ○電動式 ○電気式 ○逆方向連動 4) ダンパー本体及び操作箱との取り配線は本工事とし、それ以降の制御配線は別途工事とする。									
	○保温	床下及び壁内保温 ※不要 ○必要 (図示) ※図面による。									
自動	○制御										
	○小規模用節水装置	電気供給方式 ○AC電源 ○乾電池 ○自己発電 ○自動水栓 電気供給方式 ○AC電源 ○乾電池 ○自己発電 手動スイッチ ○無し ○有り									
衛生	○大規模用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気駆動式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)									
	○水石けん入れ	○手洗機一機型 ○手洗機分機型 ○ 1) 大規模用洗浄弁 ○センサー式 ○タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。									
給	○給水方式	○水道直結方式 ○高圧タンク方式 ○水道直結増圧方式 (水道直結増圧形ポンプユニット) ○ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)									
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60S _u 以下は塩管式、呼び径75S _u 以上は溶接接合) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP) ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-P、SGP-FPA) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○ 地中配管 [屋内] ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60S _u 以下は塩管式、呼び径75S _u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 ○2種) (接合方法 ※メカニカル ○電気融着) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP) ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○ 地中配管 [屋外] ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60S _u 以下は塩管式、呼び径75S _u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 ○2種) (接合方法 ※メカニカル ○電気融着) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP) ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-P、SGP-FPD) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○									
水	○緊急遮断弁装置	○必要 ○不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式									
	○量水器	○現地表示式 (自読式) ○遠隔表示式 (バルブ式)									

種	項目	特記事項
給	○水栓柱	○合成樹脂製 (70×70×1300H) ○ステンレス製 () ○アルミニウム合金製 () ○不凍水栓柱 ()
	○管の埋設深さ	特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。 1) 一般敷地 ○300mm 2) 構内車庫通路 ○600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
水	○埋戻し及び盛土	○硬質土 ○再生コンクリート砂 ○山砂
	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
設	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装復旧後まで) ○別途工事
	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ●分流式 ○合流式 ポンプアップ排水 ○有り ○雑排水 ○汚水 ○雨水 ○浄化槽2次側) ○無し
排	○放流式	汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ排水 ○雨水側溝 ○雨水樹 透水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	○水道用亜鉛めっき鋼管 ○配管用炭素鋼管 (白) (○ねじ接合 ○MDジョイント) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・透気用耐火二層管 (VP) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・透気用耐火二層管 (VP)
水	屋内汚水管	○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・透気用耐火二層管 (VP)
	通気管	○配管用炭素鋼管 (白) (○ねじ接合 ○MDジョイント) ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・透気用耐火二層管 (VP)
設	地中配管 [屋内]	●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
	地中配管 [屋外]	●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○VU ●リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
備	網管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD) とし、継手はフランジ接合とする。	
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
給	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装復旧後まで) ○別途工事
	●給湯方式	○中央式 ●局部式
煙	○配管材料	○水道用耐火性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-HVA) ○一般配管用ステンレス鋼管 ○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ●被覆鋼管
	○保温	ガス漏洩部の排気筒の断熱断面積の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
消	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 () ○連結送水管 ○
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白 Sch 40) ○一般配管用ステンレス鋼管
火	○保温	地中配管 [屋内] [屋外] ○消火用硬質塩化ビニル外重被覆鋼管 (SGP-VS) 消火用非水タンクの保温を ○施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用非水タンクの保温を ○施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	○ガス	●ガスの種類 ○都市ガス (発熱量 ○45.000kJ/Nm ³ ○ kJ/Nm ³) ●液化石油ガス (○50kg 本立 ●20kg 2本立)
ガ	○ガスメーター	観メーター ●買与品 ○購入 子メーター ○購入 ○買与品 計量方式 (○差速式 ○バルブ式)
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ 地中配管 [屋内] [屋外] ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管
ス	○地中配管の接合方法	都市ガスの場合は、供給仕様による。 ○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE工法
	○ビット内施工	○溶接工法 ○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
設	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装復旧後まで) ○別途工事
設	排水井設備	○排水ポンプ式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転駆動式
	○掘削工法	○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法
井	○掘削工法	○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法
	○掘削工法	○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法
設	○掘削工法	○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法
	○掘削工法	○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法 ○掘削工法

種	項目	特記事項
浄	○形式	○ユニット形 ○壁通し工形
	○処理方法	○小規模合併処理 (図面による) ○合併処理 (図面による)
換	○換気	※図面による。
	○換気	

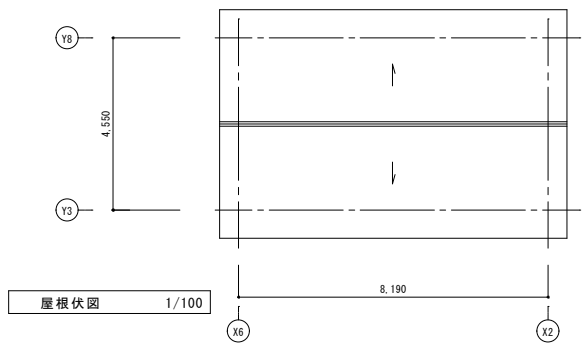
別表 1 付属品・予備品
 ○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組立バナー、ハンマー)
 ○マフールロック ○パイプレンチ ○ポンププライヤー ○ラバーカップ (大、小)
 ○イージーキープネット 箱 ○キボックス
 ○腐蝕予備品 (ランプ及びヒューズの100%)



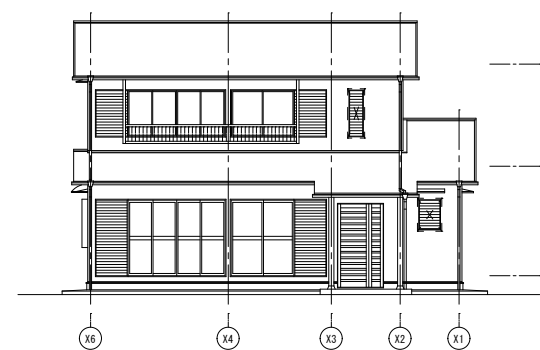
配置図 1/250

※  は工事対象建物（1号棟、6～8号棟）を示す。

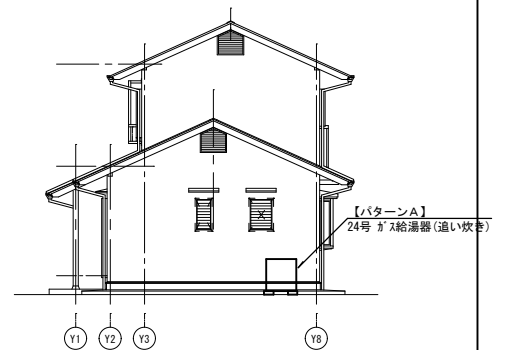
注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所		SCALE	1/250 (A2)	SHEET
	機械設備工事 配置図	設計者	1級建築士 萩本 暁	登録番号 102589号	所在地 電話番号	京都市北区北野下白梅町80 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	NO. M-03



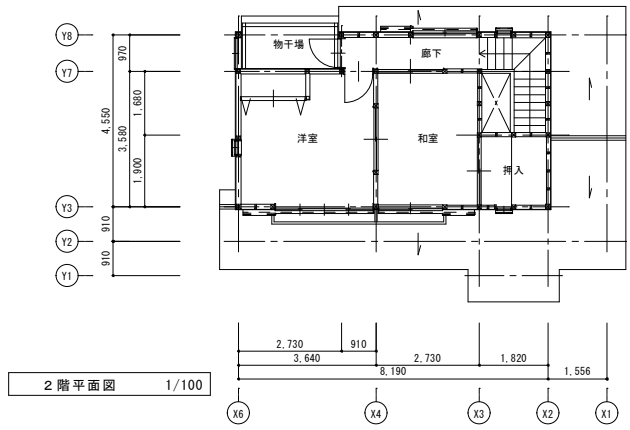
屋根伏図 1/100



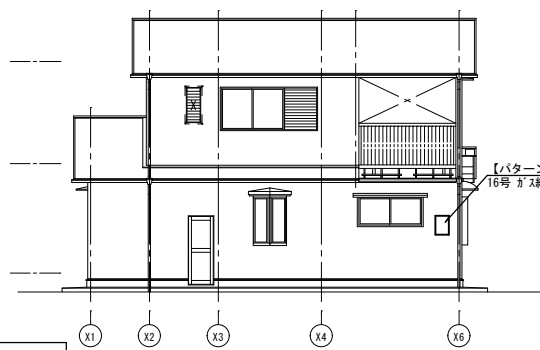
南立面図 1/100



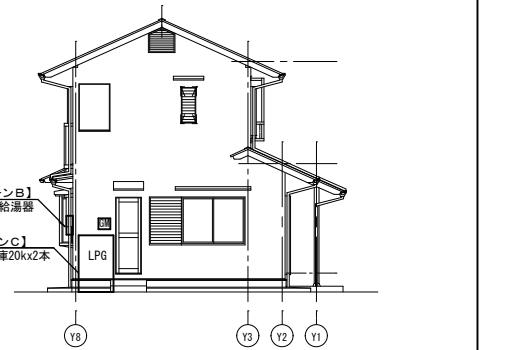
東立面図 1/100



2階平面図 1/100



北立面図 1/100

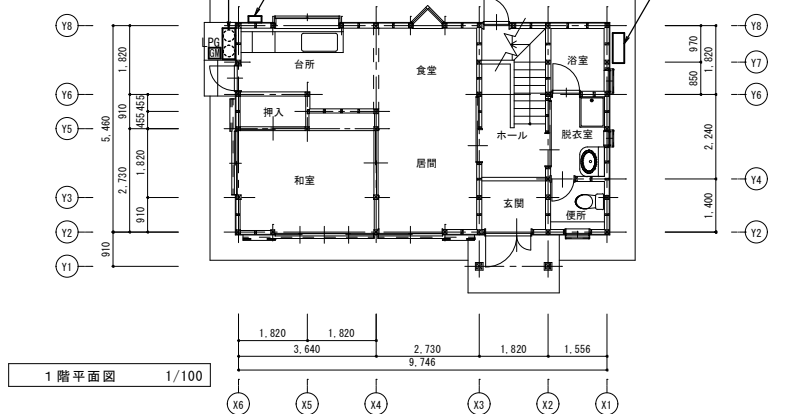


西立面図 1/100

【パターンC】
 ガス「バ」庫、20kx2本「バ」
 ガス管、ガス「バ」(支持材取外し・再取付)
 鋼板製 893x428x1420h

【パターンB】
 壁掛型16号ガス給湯器(取外し・再取付)
 給水管、給湯管、ガス管(取外し・再取付)
 GK-1623K (CHOFU)

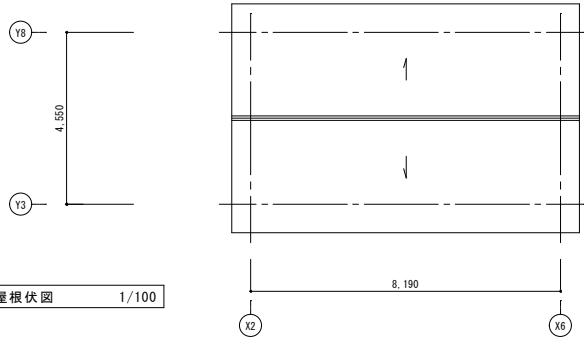
【パターンA】
 床置型24号ガス給湯器(追い炊き)(現状のまま)
 給水管、給湯管、循環管、ガス管、支持金具(現状のまま)
 GFK-2450WA (CHOFU)



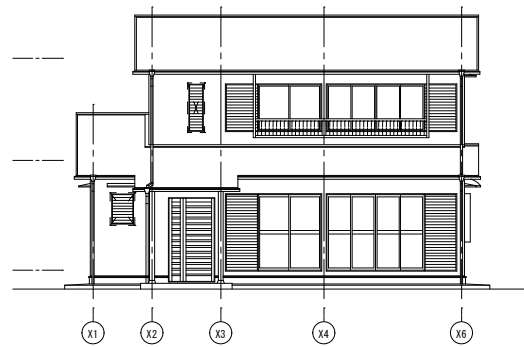
1階平面図 1/100

- 【特記事項】
- 【パターンA】 ※給湯器床置き、給湯配管等が土間上りの場合
 ①対処不要、そのまま建築施工可。
- 【パターンB】 ※給湯器壁掛け、給湯配管等が壁貫通の場合
 ①壁掛型ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
 ②建築外壁撤去後、現状位置へ仮復旧。(合い番)
 ③建築外壁材料位置出し、建築外壁張替え段取り。
 ④壁掛型ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
 ⑤建築外壁張替え後、現状位置へ本体及び配管等は本復旧。(合い番)
 保温は現状仕様でやり替とする。
- 【パターンC】 ※ガス「バ」、ガス管が壁貫通無し、外壁へガス「バ」止の場合
 ①ガス「バ」止め支持材を撤去。
 ②建築外壁撤去後、現状位置へ仮支持。(建築)
 ③建築外壁張替え後、ガス「バ」止めてにて本復旧。
- 【パターンD】 ※ガス「バ」、ガス管が外壁干渉無しの場合
 ①対処不要、そのまま建築施工可。
- 【室外機・冷媒管】
 ①一時撤去、保管。
 ②外壁完了後、本復旧とする。冷媒管の保温仕上げは全て、現状同等のやり替とする。

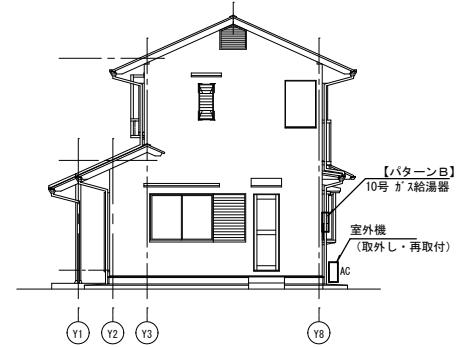
注記事項及特記事項	町営住宅質美団地1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE	1/100 (A2)	SHEET NO. M-04
	1号棟 機械設備工事 平面図、立面図	設計者	1級建築士 登録番号 102589号 萩本 暁	所在地 電話番号	京都市北区北野下白梅町90 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	



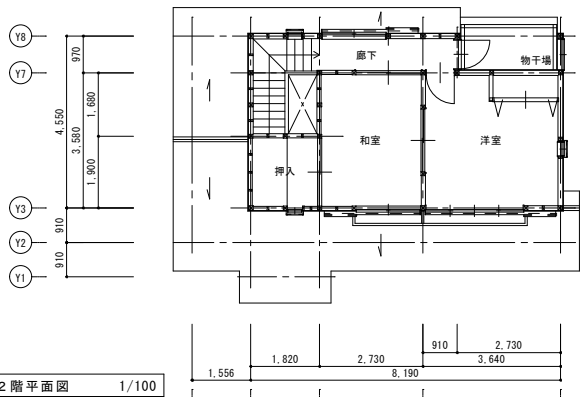
屋根伏図 1/100



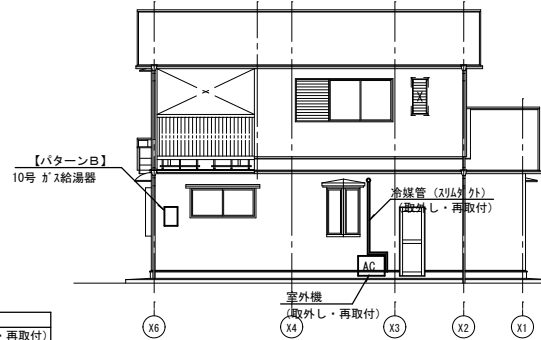
南立面図 1/100



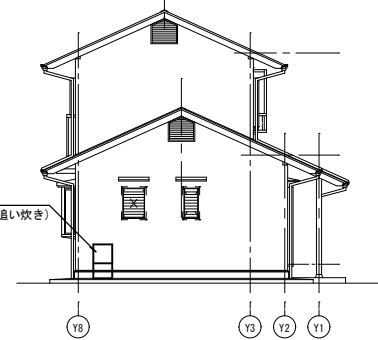
東立面図 1/100



2階平面図 1/100



北立面図 1/100

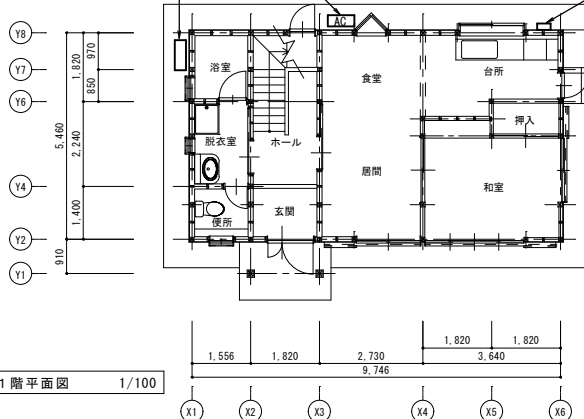


西立面図 1/100

【パターンB】
20号 ガス給湯器(追い炊き) (取外し・再取付)
給水管・給湯管・循環管 ガス管 (取外し・再取付)
型式: RUF-A2000SAW(A) (リノア)

室外機 (床置き) 冷房: 6.3kw (取外し・再取付)
冷媒管: 6.35/9.52 ドレンホース: スリムカット (取外し・再取付)
型式: RAS-K632ADR 1Φ-200V (東芝)

【パターンB】
10号 壁掛けガス給湯器 (取外し・再取付)
給水管・給湯管・ガス管 (取外し・再取付)
型式: RUX-A1015W-E (リノア)

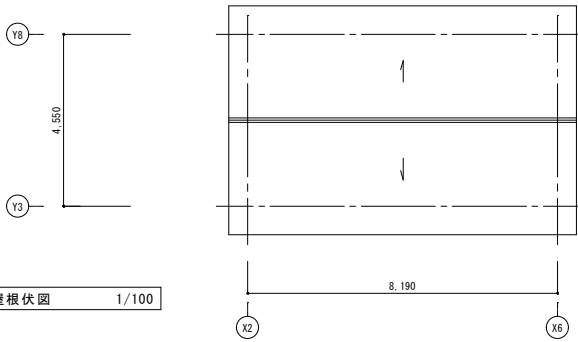


1階平面図 1/100

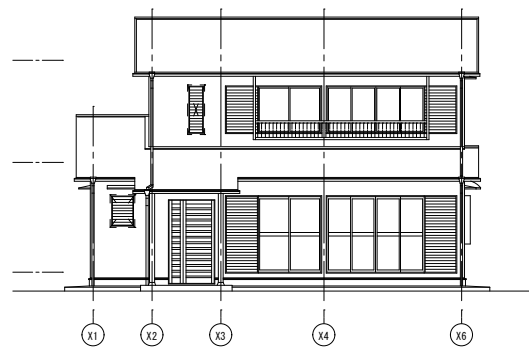
【特記事項】

【パターンA】 ※給湯器床置き、給湯配管等が土間上りの場合 ①対処不要。そのまま建築施工可。
【パターンB】 ※給湯器壁掛け、給湯配管等が壁貫通の場合 ①壁掛け型 ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。 ②建築外壁撤去後、現状位置へ仮復旧。(含い番) ③建築外壁材料位置出し、建築外壁張替え後、一時撤去。 ④壁掛け型 ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。 ⑤建築外壁張替え後、現状位置へ本体及び配管等は本復旧。(含い番) 保温は現状仕様でやり替えるとする。
【パターンC】 ※ガスホース、ガス管が壁貫通無し、外壁へガスホース止め支持材を撤去。 ①ガスホース止め支持材を撤去。 ②建築外壁撤去後、現状位置へ仮支持。(建築) ③建築外壁張替え後、ガスホース止めにて本復旧。
【パターンD】 ※ガスホース、ガス管が外壁干渉無しの場合 ①対処不要。そのまま建築施工可。
【室外機・冷媒管】 ①一時撤去、保管。 ②外壁完了後、本復旧とする。冷媒管の保温仕上げは全て、現状同等のやり替えるとする。

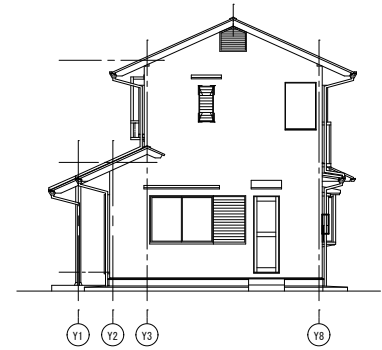
注記事項及特記事項	町営住宅質美団地 1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE	1/100 (A2)	SHEET	
	6号棟 機械設備工事 平面図、立面図	設計者	1級建築士 登録番号 102589号 萩本 暁	所在地	京都市北区北野下白梅町80 TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448	NO.	M-05



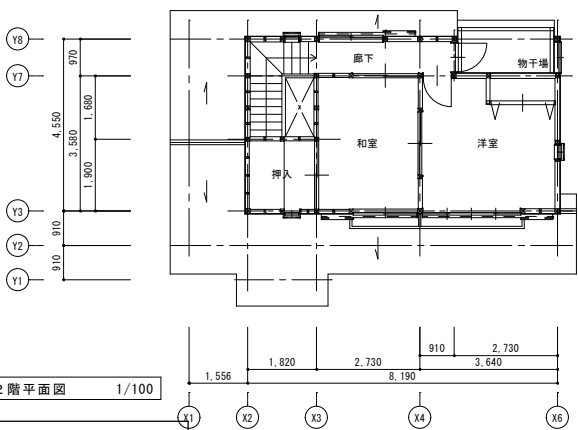
屋根伏図 1/100



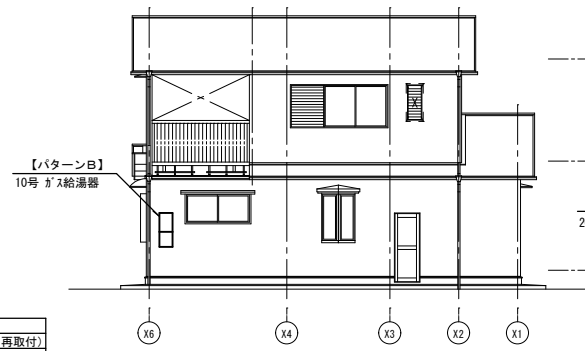
南立面図 1/100



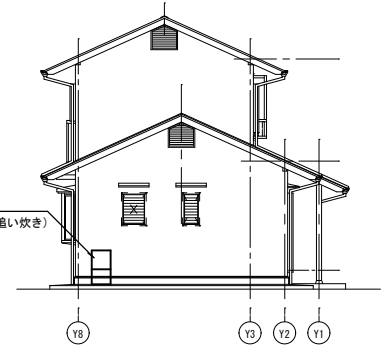
東立面図 1/100



2階平面図 1/100



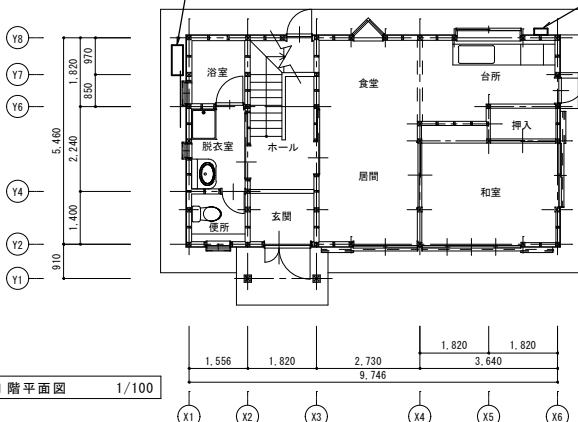
北立面図 1/100



西立面図 1/100

【パターンB】
20号 壁掛けガス給湯器(追い炊き) (取外し・再取付)
給水管, 給湯管, 循環管, ガス管 (取外し・再取付)
型式: ヌツUF SA20(リノイ)

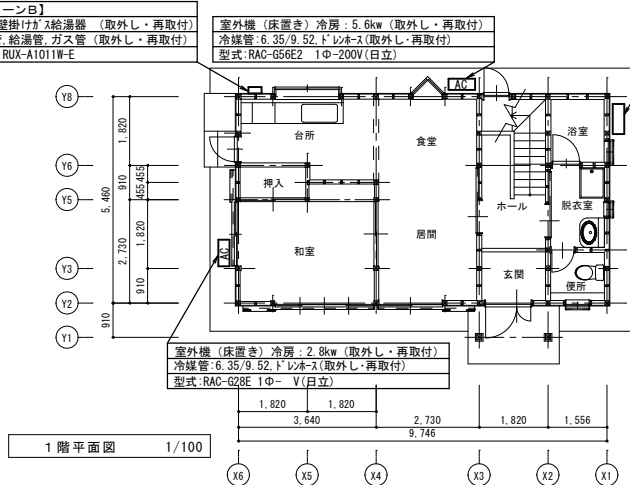
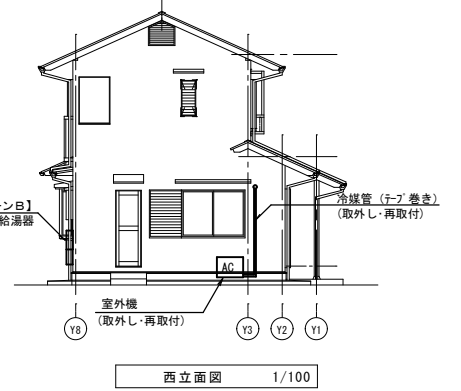
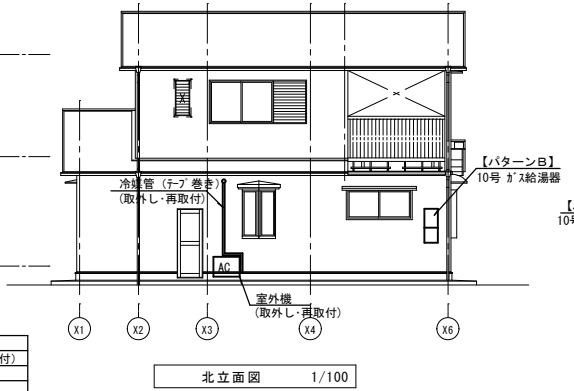
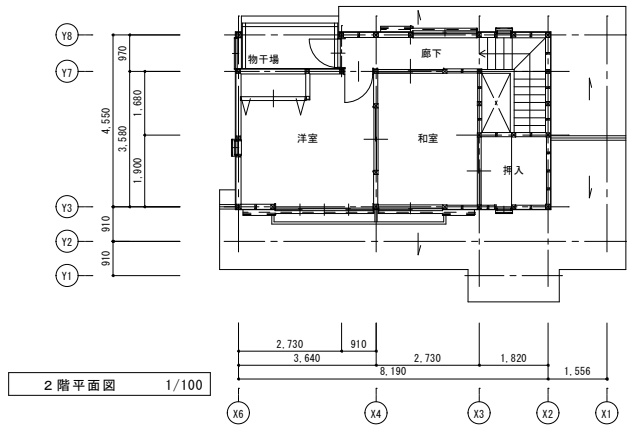
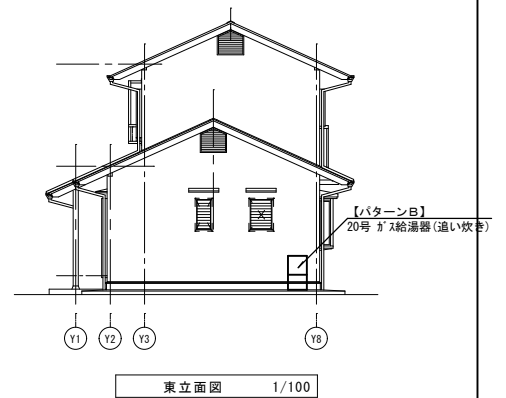
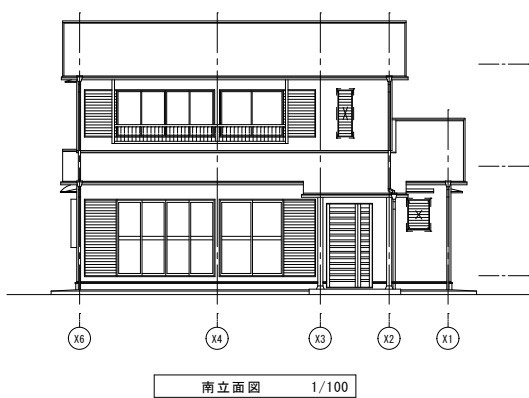
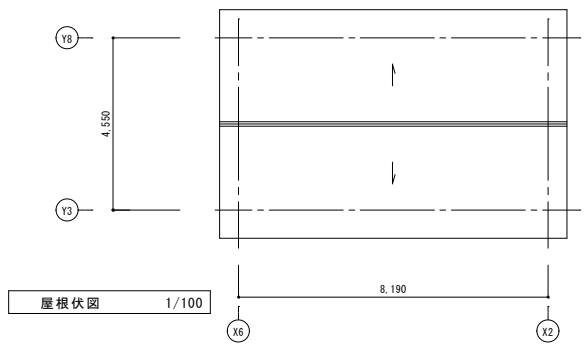
【パターンB】
10号 壁掛けガス給湯器 (取外し・再取付)
給水管, 給湯管, ガス管 (取外し・再取付)
型式: RUX-A1011W-E(リノイ)



1階平面図 1/100

- 【特記事項】
- 【パターンA】 ※給湯器床置き、給湯配管等が土間立上りの場合
①対応不要、そのまま建築施工可。
 - 【パターンB】 ※給湯器壁掛け、給湯配管等が壁貫通の場合
①壁掛け ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
②建築外壁撤去後、現状位置へ仮復旧。(合い番)
③建築外壁材料位置出し、建築外壁張替え段取り。
④壁掛け ガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
⑤建築外壁張替え後、現状位置へ本体及び配管等は本復旧。(合い番)
保温は現状仕様でやり替えるとする。
 - 【パターンC】 ※ガスケー、ガス管が壁貫通無し、外壁へ射し「バンド」の場合
①射し「バンド」止め支持材を撤去。
②建築外壁撤去後、現状位置へ仮支持。(建築)
③建築外壁張替え後、射し「バンド」止めて本復旧。
 - 【パターンD】 ※ガスケー、ガス管が外壁干渉無しの場合
①対応不要、そのまま建築施工可。
 - 【室外機・冷媒管】
①一時撤去、保管。
②外壁完了後、本復旧とする。冷媒管の保温仕上げは全て、現状同等のやり替えるとする。

注記事項及特記事項	町営住宅質美団地 1号棟ほか3棟屋根及び外壁改修工事	事務所	株式会社 萩本建築設計事務所	SCALE	1/100 (A2)	SHEET	
	7号棟 機械設備工事 平面図、立面図	設計者	1級建築士 登録番号 102589号 萩本 暁	所在地	京都市北区北野下白梅町80	NO.	M-06
				電話番号	TEL (075) 461-3301 FAX (075) 461-3448		



【パターンB】
20号 壁掛けガス給湯器(追い炊き) (取外し・再取付)
冷媒管: 6.35/9.52" 1" リノース(取外し・再取付)
型式: RUF-A2005SAW(A) (リノイ)

【パターンB】
10号 壁掛けガス給湯器 (取外し・再取付)
給水管・給湯管・ガス管 (取外し・再取付)
型式: RUX-A1011W-E

室外機(床置き) 冷房: 5.6kw (取外し・再取付)
冷媒管: 6.35/9.52" 1" リノース(取外し・再取付)
型式: RAC-G56E2 1Φ-200V(日立)

室外機(床置き) 冷房: 2.8kw (取外し・再取付)
冷媒管: 6.35/9.52" 1" リノース(取外し・再取付)
型式: RAC-G20E 1Φ-V(日立)

- 【特記事項】
- 【パターンA】 ※給湯器床置き、給湯配管等が土間上りの場合
①対処不要、そのまま建築施工可。
 - 【パターンB】 ※給湯器壁掛け、給湯配管等が壁貫通の場合
①壁掛けガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
②建築外壁撤去後、現状位置へ仮復旧。(含い番)
③建築外壁材料位置出し、建築外壁張替え段取り
④壁掛けガス給湯器は本体及び配管等は、一時撤去。
⑤建築外壁張替え後、現状位置へ本体及び配管等は本復旧。(含い番)
保温は現状仕様でやり替とする。
 - 【パターンC】 ※ガスルーチ、ガス管が壁貫通無し、外壁へサドバルトの場合
①サドバルト止め支持材を撤去。
②建築外壁撤去後、現状位置へ仮支持。(建築)
③建築外壁張替え後、サドバルト止めに本復旧。
 - 【パターンD】 ※ガスルーチ、ガス管が、外壁干渉無しの場合
①対処不要、そのまま建築施工可。
 - 【室外機・冷媒管】
①一時撤去、保温
②外壁完了後、本復旧とする。冷媒管の保温仕上げは全て、現状同等のやり替えとする。